

2019（令和元）年度 事業報告書



学校法人 藍野大学

— 目 次 —

I. 法人の概要

1. 建学の精神、教育理念、ミッション・ステートメント、シン・メディカルの理念 …1
2. 沿革 ……2
3. 設置する学校・学部・学科等 ……3
4. 学校・学部・学科等の学生生徒数の状況 ……4
5. 役員・評議員および教職員の概要 ……5

II. 事業の概要

＜主な事業と進捗状況＞

1. 藍野大学 ……7
2. 藍野大学短期大学部 ……21
3. 藍野高等学校 ……31
4. 滋賀医療技術専門学校 ……36
5. 管理運営の取り組み ……37

III. 財務の概要

1. 学校法人会計について ……51
2. 決算の概要 ……52
3. 経年比較 ……56
4. 主な財務比率比較 ……61
5. その他 ……61
6. 事業活動収支計算書における「学生一人当たりの支出とこれを賄う収入」 ……63

IV. 経年のデータ

1. 志願者数の推移 ……64
2. 入学者数の推移 ……65
3. 在籍者数の推移 ……66
4. 国家試験結果の推移 ……67

I. 法人の概要

1. 建学の精神、教育理念、ミッション・ステートメント、シン・メディカル理念

1979年に創設された学校法人藍野大学（以下「本法人」という。）では、大阪府茨木市を拠点に現在、藍野大学（大学院看護学研究科、医療保健学部 看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科）、びわこリハビリテーション専門職大学（リハビリテーション学部 理学療法学科、作業療法学科）、藍野大学短期大学部（第一看護学科 [2年制]、第二看護学科 [3年制]、専攻科 [地域看護学専攻]）、藍野高等学校（衛生看護科）、滋賀医療技術専門学校（理学療法学科、作業療法学科）を擁し、高度で実践的な医療の知識と技術を身に付けた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士の資格を有し、現代医療の発展に寄与する人材の育成に努め、地域社会の中で大きな役割を果たしております。

これからも時代のニーズに応じた高度な教育・研究の機能と責務を遂行することにより、魅力ある教育研究活動の推進に努めて参ります。

(1) 建学の精神

「愛智精神 [Philo-sophia] にもとづく人間教育」

この建学の精神にもとづき、人間愛と知性と情操を高め、継続的な自己研鑽を基礎に深い探究心をもった医療従事者の養成に努めています。

(2) 教育理念

創設者小山昭夫の著書「人間と病気-医学と医療について-」（1983年6月25日発刊）には「医療とは、医学の基礎の上に立つ医学の応用であると同時に、人間の苦に対して、人間としてどう対処するのか、病者にとって最善とは何か、を常日頃から問い続けなければならない。こういう意味で我々は次の言葉を motto としているのである。」とあります。

“Saluti et solatio aegrorum”（邦訳：病める人々を医やすばかりでなく慰めるために）

この言葉が、学校法人藍野大学の教育理念として創基から 50 有余年継承されています。

(3) ミッション・ステートメント

急激な社会構造の変化の中、日本の社会は、最新の知見に根ざした医療サービスとともに、地域に密着し、心の通った安心できる医療の提供を求めています。本法人は、そうした社会の要請に応え、日本の地域医療の質の向上に貢献します。そのために、人間に対する深い愛を持ち、生涯にわたり医療職としての誇りを持ち続け、研鑽を怠らない医療人の育成に努めます。

(4) シン・メディカル理念

Sym-medical ～医師中心の医療から患者さん中心のチーム医療～

面前で苦しむ患者さんへの対応は医師のみでは不可能です。医師以外のスタッフも対等の立場で、より高度な医療に従事することが大切です。現代社会では共に医療に携わるという意味で医療従事者を Co-medical（コ・メディカル）と呼んで協力体制を築きつつあります。

このような状況を踏まえ、創設者は看護、理学療法、作業療法を含む医療、福祉、保健の専門家が一緒になり（Sym）、シンフォニーを奏でるように協力して患者さん中心の医療（Medical）を行うことが

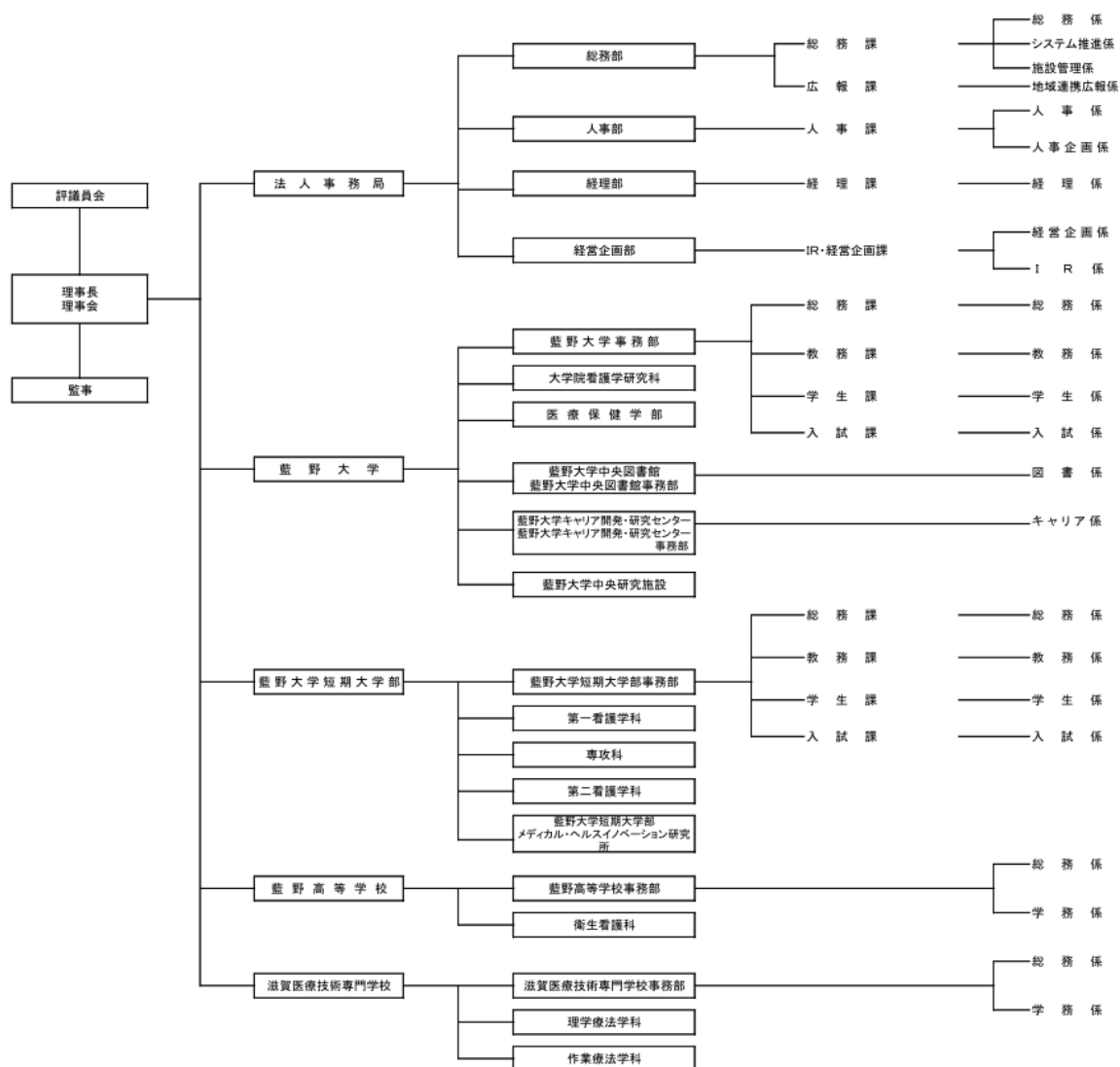
重要であると考え、Sym-medical（シン・メディカル）という理念を提唱し、その考えは学校法人藍野大学の教育にも活用されております。

2. 沿革

1968年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属看護学院 指定
1975年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属高等看護学院 指定
1978年4月1日	医療法人附属を藍野看護専門学校に変更、藍野看護専門学校 看護専門課程・看護高等課程 設置
1979年9月1日	(準)学校法人藍野学院 創立、藍野看護専門学校 設置者変更
1983年3月31日	藍野看護専門学校を藍野医療技術専門学校に名称変更
1985年4月1日	藍野学院短期大学 開学
1986年3月31日	藍野医療技術専門学校看護高等課程准看護科 廃止
1988年3月31日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護科(2年課程) 廃止
1990年4月1日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護学科(2年課程定時制) 設置
1993年4月1日	藍野学院短期大学専攻科(地域看護学専攻) 設置
1993年4月1日	藍野医療技術専門学校看護学科2年課程 定時制から全日制へ変更
1994年4月1日	藍野医療技術専門学校医療秘書・病院管理学科を医療福祉ビジネス学科に名称変更
1996年4月1日	滋賀医療技術専門学校(看護学科、理学療法学科、作業療法学科) 開校
1996年4月1日	藍野医療技術専門学校名を藍野医療福祉専門学校に名称変更
1996年4月1日	藍野医療福祉専門学校介護福祉学科 設置
1999年4月1日	藍野医療福祉専門学校医療福祉ビジネス学科 廃止
2001年7月9日	藍野短期大学に藍野加齢医学研究所を附置
2003年4月1日	藍野学院短期大学別科(留学生別科) 設置
2004年4月1日	藍野大学(看護学科、理学療法学科、作業療法学科) 開学
2007年4月1日	藍野学院短期大学看護学科を第一看護学科に名称変更
2007年4月1日	藍野学院短期大学第二看護学科(3年課程) 設置
2007年4月1日	藍野学院短期大学附属藍野高等学校(衛生看護科) 開校
2008年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 教職課程認定(高等学校教諭一種(看護)・養護教諭一種)
2010年4月1日	藍野大学医療保健学部臨床工学科 設置
2011年3月31日	藍野学院短期大学留学生別科 廃科
2012年3月31日	藍野医療福祉専門学校 廃校
2012年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 3年次編入学定員変更(20名→5名)
2012年4月1日	滋賀医療技術専門学校理学療法学科 入学定員変更(40名→80名)
2012年4月1日	藍野学院短期大学を藍野大学短期大学部に、藍野学院短期大学附属藍野高等学校を藍野高等学校に名称変更
2013年4月1日	藍野大学短期大学部専攻科(地域看護学専攻)が、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める要件を満たす専攻科としての認定を受ける
2014年4月1日	藍野高等学校衛生看護科 入学定員変更(80名→100名)
2015年4月1日	藍野大学大学院看護学研究科 設置
2016年4月1日	藍野大学再生医療研究所を藍野大学中央研究施設に改組
2017年4月3日	株式会社藍野大学事業部(学校法人100%出資会社) 設立
2017年9月15日	学校法人藍野学院を学校法人藍野大学に名称変更
2018年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科入学定員変更(80名→90名)、3年次編入学定員(5名→2名)
2018年4月1日	キャリア開発・研究センターを藍野大学の附置機関とする
2018年9月1日	メディカル・ヘルスイノベーション研究所を藍野大学短期大学部の附置機関とする
2019年3月4日	滋賀医療技術専門学校 募集停止(2019年度生からの募集を中止)

3. 設置する学校・学部・学科等

(1) 組織図



(2) 所在地

大学

藍野大学 大阪府茨木市東太田 4-5-4

短期大学

藍野大学短期大学部

茨木キャンパス 大阪府茨木市太田 3-9-25

青葉丘キャンパス 大阪府富田林市青葉丘 11-1

高等学校

藍野高等学校 大阪府茨木市東太田 4-5-11

専門学校

滋賀医療技術専門学校 滋賀県東近江市北坂町 967

4. 学校・学部・学科等の学生生徒数の状況

(1) 学生生徒の入学数と在籍者数（2019年5月1日現在）

（単位：人）

学校種・学部	学 科	入学定員	入学者数	編入学定員	収容定員	在籍者数
藍野大学大学院	看護学研究科	6	4	—	12	12
藍 野 大 学 医療保健学部	看 護 学 科	90	95	2	344	401
	理学療法学科	80	89	—	320	359
	作業療法学科	40	43	—	160	181
	臨床工学科	40	46	—	160	165
	計	250	273	2	984	1,106
藍 野 大 学 短期大学部	第一看護学科	100	98	—	200	210
	専 攻 科	40	40	—	40	40
	第二看護学科	80	89	—	240	286
	計	220	227	—	480	536
藍野高等学校	衛生看護科	100	109	—	300	313
滋賀医療技術 専 門 学 校	理学療法学科	—	—	—	160	113
	作業療法学科	—	—	—	80	54
	計	—	—	—	240	167
合 計		576	613	2	2,016	2,134

(2) 修了者・卒業者数（2020年3月31日現在）

学校種・学部	学 科 等	卒業者数 (人)
藍野大学大学院	看護学研究科	5
藍 野 大 学 医療保健学部	看 護 学 科	97
	理学療法学科	81
	作業療法学科	36
	臨床工学科	29
	計	243

学校種・学部	学 科	卒業者数 (人)
藍野高等学校	衛生看護科	74

学校種・学部	学 科	卒業者数 (人)
藍 野 大 学 短期大学部	第一看護学科	104
	第二看護学科	69
	計	173
	専 攻 科	40

学校種・学部	学 科	卒業者数 (人)
滋賀医療技術 専 門 学 校	理学療法学科	58
	作業療法学科	29
	計	87

学校法人全体卒業者数（人）	622
---------------	-----

(3) 就職状況（2020年3月31日現在）

学校種・学部	学 科	就職希望者数 (人) A	就職者数 (人) B	就職率 (%) B/A
藍 野 大 学 医療保健学部	看 護 学 科	86	86	100.0
	理学療法学科	81	81	100.0
	作業療法学科	34	34	100.0
	臨床工学科	28	28	100.0
	計	229	229	100.0
藍 野 大 学 短期大学部	第一看護学科	102	101	99.0
	専 攻 科	39	39	100.0
	第二看護学科	68	62	91.1
	計	209	202	96.7
藍野高等学校	衛生看護科	0	0	0
滋賀医療技術 専 門 学 校	理学療法学科	55	55	100.0
	作業療法学科	29	29	100.0
	計	84	84	100.0
合 計		522	515	98.7

※就職率は、国家試験不合格者及び進学者、就職意思のない者は除く。

(4) 進学者数（2020年3月31日現在）

学校種・学部	学 科	人数
藍野大学大学院	看護学研究科	1

学校種・学部	学 科	人数
藍野高等学校	衛生看護学科	74

学校種・学部	学 科	人数
藍野大学 医療保健学部	看護学科	1
	理学療法学科	0
	作業療法学科	0
	臨床工学科	0
	計	1

学校種・学部	学 科	人数
滋賀医療技術 専門学校	理学療法学科	0
	作業療法学科	0
	計	0

学校種・学部	学 科	人数
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	2
	専攻科	0
	第一看護学科	1
	計	3

5. 役員・評議員及び教職員の概要

(1) 役員・評議員（2019年5月1日現在）

①理事

寄附行為条項	条 文	定 数	現 員	非常勤（再掲）
第6条第1項第1号	藍野大学 学長	1人	1人	—
第6条第1項第2号	藍野大学短期大学部 学長	1人	1人	—
第6条第1項第3号	藍野高等学校又は滋賀医療技術専門学校の学校長のうちから理事会において選任した者	1人	1人	—
第6条第1項第4号	評議員のうちから評議員会において選任した者	4人以上 6人以内	4人	2人
第6条第1項第5号	学識経験者のうちから理事会において選任した者	1人	1人	1人

②監事

寄附行為条項	条 文	定 数	現 員	非常勤（再掲）
第7条	監事は、この法人の理事又は職員（学長、学校長、教員その他の職員を含む。以下同じ。）又は評議員以外の者であつて理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て、理事長が選任する。	2人	2人	2人

③評議員

寄附行為条項	条 文	定 数	現 員	非常勤(再掲)
第24条第1項第1号	藍野大学 学長	1人	1人	—
第24条第1項第2号	藍野大学短期大学部 学長	1人	1人	—
第24条第1項第3号	藍野高等学校又は滋賀医療技術専門学校の学校長のうちから理事会において選任した者	1人	1人	—
第24条第1項第4号	この法人の職員及びこの法人の設置する学校の教員その他の職員のうちから理事会において推薦された者の	3人以上 4人以内	4人	—

	うちから、評議員会において選任した者			
第24条第1項第5号	この法人の設置する学校を卒業した者で、年齢25年以上の者のうちから理事会において選任した者	2人	2人	1人
第24条第1項第6号	学識経験者のうちから理事会において選任した者	9人以上 12人以内	11人	4人

④役員・評議員の氏名

理事長		小山英夫
常務理事		山本嘉人
理事	第1号	菅田勝也（藍野大学 学長）
	第2号	佐々木恵雲（藍野大学短期大学部 学長）
	第3号	小山英夫（滋賀医療技術専門学校 学校長）
	第4号	佐藤基（藍野高等学校 校長） 杉野正一（医療法人恒昭会 藍野病院 院長） 鷺見光博（みそうパートナーズ株式会社 シニアマネージャー 公認会計士） 山本嘉人（学校法人藍野大学 法人事務局長）
	第5号	岡山栄雄（中央総合会計事務所所長 税理士）
監事		中務未樹（プランシュ法律事務所 弁護士） 堀江亮司（堀江公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士）
評議員	第1号	菅田勝也
	第2号	佐々木恵雲
	第3号	小山英夫
	第4号	波多野浩道、後藤昌弘、酒井浩、井出千束
	第5号	信岡研身、本多容子
	第6号	大村卓司、佐藤基、杉野正一、岡山栄雄、鷺見光博、山本嘉人、青山弘義、飯田英晴 足利学、河合まゆみ、小林正明

(2) 教職員（2019年5月1日現在）

（単位：人）

区 分		法人事務局	藍野大学	藍 野 大 学 短期大学部	藍 野 高等学校	滋賀医療技術 専門学校	計
教員	本務	0	87	45	20	16	168
	兼務	0	66	98	21	41	226
職員	本務	20	23 (内、図書館1)	13	6 (内、寮母1)	7	69
	兼務	2	3	3	1	4	13
計	本務	20	110	58	26	23	237
	兼務	2	69	101	22	45	239

※出向、派遣職員は除く。

Ⅱ. 事業の概要 <主な事業と進捗状況>

本法人では、高等教育機関全体として、18歳人口の減少に伴う規模の縮小や学校経営上の困難といった厳しい事態が生じていることに危機感を持ちつつも、生涯学習ニーズの高まりにより従来型の学生像にとらわれず、社会人学生等幅広い年齢層の積極的な受け入れも視野に入れ、高等教育に対する新しい需要に対応できる学校運営を目指しています。

特に本法人では、「*Saluti et Solatio Aegrorum*（病める人々を医やすばかりでなく慰めるために）」という心の通った医療サービスの提供を意味する教育理念のもと、ガバナンスの強化や規程の整備などの管理運営の改善はもちろんのこと、運営基盤の安定化に努めるとともに、現代社会が求める「地域に密着し、心の通った安心できる医療の提供」に応えることができる人材の育成及び教育研究活動を積極的に取り組んでおります。2019年度に取り組んだ主な事業について以下、報告します。

1. 藍野大学

(1) 教育活動

①大学院看護学研究科の活動

2019年4月入学者は4名でしたが、1名が自主退学しました。2020年3月には、2017年度入学の1名、2018年度入学の4名の計5名が修了し、「修士（看護学）」の学位を授与しました。全員が勤務しながらの通学で、修了後は進学の者、現職継続の者がおり、教育・研究の場と現場での活躍が期待されます。2018年度に共通科目として開講した「先進看護論演習（2単位）」を8月に実施、4名の大学院生が、UCLAで学びました。帰国後は、2020年3月に報告会を行い、1名は紀要に報告しました。

②医療保健学部教育等活動

ア. 看護学科

2020年4月からの90名から115名への定員増の申請が、一部の修正点はあったものの認められました。新カリキュラムに適合する実習室の改修・整備を行い、教員配置の考え方に沿い人事計画を立案し、公募及び昇任人事を進め、これらはほぼ達成できました。

また、前年度に立案した学習成果の検証・可視化案の具現化を行いました。第3期認証評価あるいはそれ以降にも対応できるものにすることを目標としました。カリキュラムに関しての「それ以降」とは、2019年10月に出された「看護基礎教育検討会報告書」に基づき2022年度から適用される教育内容の見直し（第5次カリキュラム改正）に対応したカリキュラムのことです。そこで求められている見直しのポイントのある程度は反映することができたため、今後大幅な改正は必要ありません。実習（内容、単位数の変更）については、今後の検討事項として残りましたが、本年度も実施した臨地実習施設の開拓・再構築の成果により、2022年度改正に十分対応できると考えています。

学習成果の検証・可視化に関しては、入学時のベースライン評価を実施し、プロセス評価案を立案しました。卒業研究を用いたアウトカム評価も試行実施しました。アウトカム評価では教員間のバラツキが課題となりました。

教育方法・内容については、e-Learning教材開発、シミュレーション教育の検討は一部の領域に留まり、領域横断での検討までには至りませんでした。M・L・C（メディカル・ラーニング・コモ

ンズ) にシミュレーション教育機器の整備や e-Learning 教材作成用簡易スタジオができることで、領域横断の取り組みが加速することを期待しています。

本年度新たに策定した学位レベルのアセスメントプランとして、4 年卒業率 85%、退学率 7% を決定しました。担任、学生相談室、さらには藍野グループからの支援等により、学生個々の学習支援の取り組みの成果はあるものの、目標達成のための組織的戦略はこれまで十分ではありませんでした。一方、入学希望者の増加策として、高校ガイダンスは全ての依頼に応え、精力的に取り組みました。結果、定員増に見合った入学希望者を確保することができ、延べ 1,000 人超を達成できました。

研究については、この数年同様、全学的に実施している外部資金獲得の取り組みと研究環境の整備を実施しました。共同研究の成果は論文文化を進めています、外部資金を獲得できる共同研究の立案は、中堅教員の層の薄さもあり達成できませんでした。

社会貢献については、看護学科に留まることなく、他学科とともに、組織的な取り組みを開始しました。2020 年度は SDGs への取り組みとして、茨木市と大学が連携して共同研究を提案する事業に参画する事を検討しております。その他、生涯教育の一環として、実習施設で勤務している多くの卒業生を迎え、交流会を実施しました。今後、更に、生涯教育の仕組みづくりの一步として「ホームカミング・デイ」の実施に繋げることを計画しております。また、看護研究学会でのブースを活用して、看護学科の教育・研究等の取り組みを情報発信しております。今後も継続的に取り組んでまいります。

全国的に看護教員の所属の流動性が高水準に留まる状況で、本学科でも教員の入れ替わりは多くありました。結果として、業務の分担に偏りが生じました。指導の一貫性を損なうことに繋がった可能性もあり、国家試験の合格率 95%以上を達成できなかった遠因と考えられます。そこで、教員の人材育成の考え方を明確に打ち出すことから始め、教員配置を見直すこととしました。

イ．理学療法学科

理学療法学科（以下「本学科」という。）では、毎週 1 回開催する学科会議で担任及び科目担当者から提供される学生情報を学科教員で共有し、修学支援の方針を決定しました。成績低迷者に対する学習支援については、教員間のコンセンサスを取り、カリキュラム外支援クラスを配置し、科目別個別指導を行いました。各学年における試験日程の集中や課題過負荷を防ぐなど、学年担当教員が全体像を把握し、試験や課題の時期及び内容の調節を行いました。1 年生から学生の自律的学習を促し、2 年生、3 年生では理学療法を考える臨床推論（clinical reasoning）を重視し、臨床実習前に臨床推論の思考と実践を経験する OSCE-R を行いました。また、一部の学生をオリックス・バファローズ、スペランツァ大阪高槻との連携事業、高校運動部におけるスポーツセミナー、茨木市と共催の健康増進事業に同行させ、新しい健康増進分野における理学療法への理解を促し、学習意欲を高める工夫をしました。

これらの結果、2019 年度の退学者を全学年中 1 名（服飾関係への進路変更）だけに留めることができました。4 年卒業率 85%以上という目標についても、本年度卒業した 13 期生は 85.9%であり、11 期生 85.3%、12 期生 85.0%に続いて 3 年連続で目標を達成することができました。

学生最後の集大成となる理学療法士国家試験の合格率についても、新卒の 13 期生は昨年に引き続き 100%（81/81 名）を達成し、既卒者として受験した 1 名についても合格となりました。全国合格率は新卒で 93.2%、既卒者を含める場合 86.4%であり、本学科の合格率は、例年どおり全国を

上回ることができました。就職についても 2020 年 3 月末の時点で 13 期生全員の就職が内定しました。

本年度から新たに取り組んだ事業としては、臨床実習指導者講習会開催が挙げられます。これは、2018 年 10 月に理学療法士作業療法士学校養成施設の指定規則改正が行われ、臨床実習指導者の要件厳格化がなされた結果、学科での開催が不可避となった講習会です。本学科では、臨床実習指導者講習会大阪府協議会と連携し、2020 年 2 月 1 日・2 日の 2 日間にわたって藍野大学主催臨床実習指導者講習会を開催し、100 名の臨床実習指導者を養成しました。

ウ．作業療法学科

作業療法学科（以下「本学科」という。）では、本年度の取り組みとして、過去に低調であった国家試験合格率の向上に向けて、昨年度では全国平均まで合格率を引き上げ、本年度はさらに合格率を引き上げるために、これまでの取り組みを踏襲しつつ、3 回実施する卒業試験（作業療法総合演習試験）の難易度を調整したうえで、3 回のうち 2 回の試験で 60%以上の得点を取ることで合格とすることにしました。また、専任教員による基礎科目対策セミナーの開講数を増加し、基礎力の向上を図りました。その結果、新規卒業生の国家試験合格率は 94.4%（全国平均 94.2%）となり、2 年連続で全国平均を上回ることができました。しかしながら、新卒では全国平均を上回ったものの、既卒を含めた全体の国家試験合格率は全国平均を下回ったままであり、既卒者の支援をどうするかという点が本学科の国家試験対策プログラムにおける課題の 1 つです。新年度は、既卒者をどのように支援していくのかという点を重点的に改善するための対策を検討し、実施していきます。

次に、学生に対して、地域生活を支援する職種としての社会の期待を十分認識させるために、早期からの臨床見学や障害のある方を招いての講義（対話形式）、個別面談などの取り組みを前年度から引き続き行っており、学生の学習意欲向上に役立つものと確信しています。また、本学科では学生一人ひとりの特性に合わせた段階的な教育指導とキャリア教育を展開するために、個々の学生に教員アドバイザーが付き、きめ細やかなサポート体制の充実に取り組んでおり、学生から高評価を受けています。

また、地域貢献については、研究的側面や広報的側面を含めこれまでに 2 つの大きな取り組みを行ってきました。1 つ目は、日本女子サッカーリーグのスペランツァ大阪高槻と包括的提携協定を締結し、スポーツ脳科学という新しい学際領域を通したチーム強化を試みました。作業療法は、これまで障がい者スポーツとの関わりはありましたが、健常な選手を有するプロスポーツとの関わりは例がありませんでした。しかし、脳を損傷した患者さまの認知的側面を正確に評価し、生活や就労への支援を役割とする作業療法の知見が、スポーツ選手の強化に活かすことは至極当然と言えます。また、本年度、この取り組みに参画した学生の学習意欲向上が得られたことについて日本作業療法学会で発表をしました。今後は作業療法による脳科学を利用したプロスポーツへの介入が全国的に広がることによって、スポーツに関わりたいという学生層を少しでも取り込みたいと考えます。2 つ目は、関西・関東で数多くの有料老人ホームを運営するグッドタイム・リビングとの業務提携をもとに提案する認知症予防プログラムを基盤的介入戦略としたプロジェクトについてです。この取り組みにおいても本学科学生が参画しており、施設スタッフと協働してプログラムの運営を行うことで、入所老人と学生の交流を可能にする（クロスエイジプロジェクト）という側面のみならず、学生が施設職員や入所者とのやりとりを通して社会性が顕著に向上しているという側面も認められました。前述したスポーツプロジェクトに加えて、企業と連携した認知症予防プロジェクトに学生

が参画することが、学習成果にプラスの影響を与えることが強く示唆されますので、今後もこのようなプロジェクトを増やしていくと同時に、授業科目と連動させることで広く学生の学習成果を高めていきたいと考えます。

2020 年度から開始する茨木市との認知症予防プロジェクトも、同様に学生の参画を促し、学習成果の向上につなげていきたいと思います。

エ. 臨床工学科

臨床工学科では、入学生の質の向上が学科発展の基本であるという考えから、志願者の増加に力を注いできました。しかし、入学志願者数は昨年よりも減少し、2020 年度入学生は 37 名に留まりました。このように志願者数が振るわなかったのは、昨年度の国家試験合格率が 81.6%で、全国平均(77.5%)を上回りましたが、予想を下回る結果だったことが大きく影響しているものと考えます。本年度は卒業生が 29 名でした。国家試験は、新卒 29 名、既卒 3 名が受験し、新卒 28 名、既卒 1 名が合格しました。合格率は、新卒と既卒を含めれば 90.6%、(全国平均 82.1%)、新卒のみでは 96.6% (全国平均 90.7%) となり、好成績を収めることができました。国家試験対策として、後期の 9 月から毎朝 1 限に国家試験問題の解説と講義を行い、模擬試験を 4 月から毎月 1 回実施し、最後の 3 回は全国統一模擬試験を受験しました。それらの取り組みが国家試験の結果につながりました。

卒業判定については、模擬試験など、全国統一模試試験などの成績を勘案し行っています。

第 2 種 ME 技術実力検定試験は卒業までに全員が合格するように、対策講義と学科主催の模擬試験を行っております。本年度は 2 年生 1 名、3 年生 23 名、4 年生 25 名が合格しました。全国的には 5,781 名が受験し、1,919 名が合格(合格率 33.2%)しております。また、第 1 種 ME 技術実力検定試験は余り振るわず、4 年生 8 名が受験し合格は 1 名でした。

卒業研究は、3 年生の 7 月から仮配属を審議・決定します。教員は 2~3 名の学生を受け持ちます。この配属は“ゼミ”と称して、学生が親密に教員の指導を受ける場となり、学生の成長を支えます。4 年生の 5 月には卒業研究の計画作成、10 月には発表会、その後論文の提出によって、学生には研究の面白さと重要さを認識させる場としています。また、10 月に研究発表、論文提出、審査というスケジュールは、卒業論文の用意のために学生が国家試験の勉強を十分できないという事態を招かないための対策です。

教員の研究の発展は大学として大きな関心事で、研究時間の確保、研究資金の獲得、研究機器の整備など多くの課題があります。教員は研究を発展させる責務を負っており、約半数の教員が科学研究費など外部資金を獲得しております。

臨床工学技士教育施設協議会では、総会と教員研修会に参加して交流を図りました。

地域貢献事業の一環として、夢ナビライブ 2019 の「まなびステーション」に参加し、高校生に対して臨床工学技士の仕事内容を紹介しました。また、サンケイリビング新聞社主催の「リビング子ども大学 2019」の事業に取り組みしました。

関西の大学間の連携事業である「大学間連携による臨床医工学・情報学高度人材育成事業※」の教育プログラムの取り組みを強化し、学生の受講を推奨しました。

同窓会及び卒業生研修会を同時に開催し、卒業生同士、また卒業生と教員との懇親の場を作り、お互いの交流、意見交換、勉強の推進を図りました。

※「大学間連携による臨床医工学・情報学高度人材育成事業」

関西の 5 つの大学（藍野大学、武庫川女子大学、大阪電気通信大学、大阪薬科大学、森ノ宮医療大学）は相互連携して医療、福祉、工学、情報学など、複数分野にわたる高度知識や技術を持った人材を育成するために、共通講座を開講している。

③学生募集の取り組み

看護・医療系の新設大学・学科が急増する中、定員確保、入学生の質の向上のための入試・広報活動の重要性は事業計画上最も上位に挙げています。2016 年度以降の入学志願者数及び入学定員充足状況の推移は、次のとおりです。

・入学志願者数の推移

	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	合計
2016 年	608	404	71	83	1,166
2017 年	629	321	89	77	1,116
2018 年	707	263	74	72	1,116
2019 年	875	472	74	127	1,548
2020 年	1,185	407	93	107	1,792

・入学定員充足状況（入学者数：入学定員充足率）

	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	合計
2016 年	108 : 1.35	92 : 1.15	42 : 1.05	42 : 1.05	284 : 1.18
2017 年	105 : 1.31	97 : 1.21	49 : 1.23	46 : 1.15	297 : 1.24
2018 年	92 : 1.02	98 : 1.23	45 : 1.13	38 : 0.95	273 : 1.09
2019 年	95 : 1.06	89 : 1.11	43 : 1.08	46 : 1.15	273 : 1.09
2020 年	115 : 1.00	106 : 1.06	48 : 1.20	37 : 0.93	306 : 1.04

※看護学科は、3 年次編入学を除く。

看護学科で 90 名から 115 名、理学療法学科で 80 名から 100 名への入学定員増を行い、医療保健学部の入学定員は 295 名となりました。それに伴い 2019 年度中に行われた入学試験（上の表では、2020 年として記載）での入学生数は 306 名、昨年度に比べて 33 名の増加となり、学部全体の定員充足率は 1.04 倍となりました。

学科ごとの志願者傾向では、看護学科、作業療法学科ともに昨年度より増加し、理学療法学科、臨床工学科では減少したため、一昨年度と逆転の傾向がみられました。また、昨年度に比べ、入学辞退者が多く、臨床工学科では、入学定員充足率が 0.93 となりました。

今後の課題は、臨床工学科を含めた全学科の志願者の絶対数を増加させるとともに、選ばれる大学として特色を打ち出した広報や入学者選抜を検討、実践していくことが挙げられます。

④国家試験及び就職状況について

国家試験の結果については、学校法人全体としても重要な説明責任を担うものであり、教員はもとより、外部講師による対策授業なども積極的に取り入れた対策をとっています。

就職支援に関しては、学内の就職説明会として、看護学科が 4 月中旬に関連病院群と実習先 18 病院を対象に、理学療法学科は 6 月上旬と 8 月上旬、10 月下旬に実習先 111 施設を対象に、作業療法学科は 8 月上旬に実習先 58 施設を対象にそれぞれ実施しました。

本年度卒業生の国家試験の合格状況と就職状況については、次のとおりです。

2019 年度卒業生 国家試験の結果

第 109 回 看護師国家試験

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	全国平均 (%)
看 護 学 科	93	85	91.4	94.7

第 106 回 保健師国家試験

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	全国平均 (%)
看 護 学 科	16	16	100.0	96.3

第 55 回 理学療法士国家試験

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	全国平均 (%)
理学療法学科	81	81	100.0	93.2

第 55 回 作業療法士国家試験

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	全国平均 (%)
作業療法学科	36	34	94.4	94.2

第 33 回 臨床工学技士国家試験

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	全国平均 (%)
臨床工学科	29	28	96.6	90.7

2019 年度 就職状況 (2020 年 3 月 31 日現在)

学 科	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)
看 護 学 科	97	86	86	100.0
理学療法学科	81	81	81	100.0
作業療法学科	36	34	34	100.0
臨床工学科	29	28	28	100.0
合 計	243	229	229	100.0

※就職希望者数は、進学者、国家試験不合格者を除いております。就職率＝就職者数÷就職希望者数

就職数上位の就職先 (2019 年度)

学 科	就 職 先
看 護 学 科	関西ろうさい病院、北摂総合病院、関西医科大学附属病院、大阪府済生会吹田病院、済生会京都府病院、医誠会病院吹田徳洲会病院、神戸市立医療センター中央市民病院、近畿中央病院、堺市立総合医療センター、男山病院、白庭病院、協立病院、滋賀県立総合病院、大阪府三島救命救急センター、滋賀医科大学医学部附属病院、洛和会音羽記念病院、ほうせんか病院愛仁会高槻病院、愛仁会リハビリテーション病院大阪市立総合医療センター、西宮市立中央病院、高槻赤十字病院
理学療法学科	大阪医科大学附属病院、関西医科大学くずは病院、地方独立行政法人神戸市民病院機構、近江八幡市立総合医療センター、公立豊岡病院組合、大阪赤十字病院、大阪府済生会茨木病院、大阪府済生会泉尾病院、済生会守山市民病院、亀田総合病院、武田総合病院、蘇生会総合病院、日本生命病院、社会医療法人愛仁会、医療法人マックスール、浅香山病院、関西リハビリテーション病院、帝塚山リハビリテーション病院、宇治徳洲会病院、岸和田徳洲会病院
作業療法学科	済生会滋賀県病院、草津総合病院、医誠会病院、森之宮病院、京都民医連あすかい病院、第一東和会病院、彩都リハビリテーション病院、阪神リハビリテーション病院、愛仁会リハビリテーション病院、藍野病院、京都回生病院、京都武田病院、うえだ下田部病院、十条武田リハビリテーション病院、花ノ木医療福祉センター、彦根中央病院、星のクリニック、発達支援ルーム ピースプラント、七山病院、野洲すみれ苑

臨床工学科	大阪医科大学附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、奈良県立医科大学附属病院、和歌山県立医科大学附属病院、呉医療センター、兵庫県立加古川医療センター、市立東大阪医療センター、市立長浜病院、大阪府済生会中津病院、京都第二赤十字病院、宇治徳洲会病院、神崎中央病院、吹田徳洲会病院、住友病院、高の原中央病院、桃仁会病院、府中病院、北摂総合病院、洛和会ヘルスケアシステム
-------	---

⑤学生支援体制

2012 年度入試から導入した特待生制度の本年度実績は、入学金及び初年度授業料の半額免除特待生（A 認定）が 2 名、初年度授業料の半額免除特待生（B 認定）が 2 名、入学金のみ免除特待生（C 認定）が 5 名、総計 9 名です。また、家族入学優遇制度については、1 名の該当学生に対し入学金の免除を行いました。2011 年度入試から募集している「自宅外通学者奨学金給付制度」については、1、2 年生で計 5 名が利用しました。詳細については、次のとおりです。

ア．学者に対する優遇措置（2019 年度中に給付または免除したもの）

制度名	内 容	認定者	給付(免除)総額
特待生制度	藍野大学に入学を希望する者で、本制度試験の成績優秀者に対し、入学金や授業料等の学費の一部を免除する制度（入学後返金）。	9 人	¥4,050,000
家族入学優遇制度	藍野大学に入学を希望する者で、両親、兄弟姉妹もしくは配偶者が藍野大学の卒業生または本法人各設置校（藍野大学含む）に在籍している場合は入学金を免除する制度（入学後返金）。	1 人	¥250,000
自宅外通学者奨学金給付制度	藍野大学に入学を希望する者で、自宅外通学を余儀なくされることにより入学が困難になる者に対し、奨学金として毎月 5 万円を 2 年間給付する制度。	5 人	¥3,000,000

※自宅外通学者奨学金給付制度の人数と金額は 2 年目支給対象者を含む。

イ．student job（有償ボランティア制度）

student job は、学生支援の一環として、学生が大学内外の清掃美化業務や就職情報の管理業務または図書館での受付業務等を有償で行う制度です。学生自身が大学業務や清掃活動に携わることでボランティア精神の醸成や愛校心が育まれています。

2019 年度 student job の実施結果

実施時期	延べ人数・延べ時間
4 月～ 6 月	77 人 100.5 時間
7 月～ 9 月	28 人 31.0 時間
10 月～12 月	29 人 39.0 時間
1 月～ 3 月	2 人 3.0 時間
合 計	136 人 173.5 時間

なお、学費滞納者は依然高水準にあり、家計急変学生を対象とする授業料減免制度を本年度中に

申請し認定された学生は1名（計1件）で、287,500円を支出（減免）しています。

また、参考までに独立行政法人日本学生支援機構による奨学金の給付・貸与状況は次のとおりです。

独立行政法人日本学生支援機構の給付・貸与状況（2019年5月1日時点）

種 類	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	臨床工学科	学部全体
第一種（無利子）	69 人	70 人	29 人	26 人	194 人
第二種（有利子）	128 人	151 人	58 人	58 人	395 人
給 付 型	5 人	4 人	1 人	3 人	13 人
奨 学 生 数	202 人	225 人	88 人	87 人	602 人
学 生 数	402 人	359 人	181 人	165 人	1,107 人
受 給 者 率	50.2%	62.7%	48.6%	52.7%	54.3%

ウ．校友会活動について

2014年度から発足した、藍野大学校友会は、2019年度において正会員857名となりました。本年度から、新たな役員体制で活動を進めています。本年度の活動は、各種イベントへの協賛を行うとともに、「あいの祭」では、校友会として出店にも参画し、多くの在校生との交流の場を提供しました。また、藍野大学自治会の役員との交流会を開催し、卒業生・在校生が繋がり、意見交換をする機会を設けました。今後もこれらの活動を継続し、在校生が求める企画等を立案するなど、学生満足度を高める取り組みを推進してまいります。

また、正会員に対しても研修会等を企画し、研鑽する機会の提供や学校法人藍野大学の発展に貢献できる取り組みを行いたいと考えています。

（2）研究活動

①外部資金獲得状況

2019年度の科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）の交付額は、研究代表者として23,140千円（総件数16件）であり、研究分担者として7,644千円（総件数13件）となりました。

応募件数64件に対し、新規採択件数は、研究代表者として、基盤研究（C）1件、若手研究2件でした。

2019 年度新規採択

研究種目	研究課題名	交付金額（円）
基盤研究（C）一般	舌苔を有する高齢者に対する効果的で心地よい舌苔除去方法の検証	2,730,000
若手研究	脊髄損傷の再生医療における自発的運動介入の効果に関する研究	520,000
若手研究	短時間の階段昇降運動による糖代謝機能改善効果に関する検討	3,120,000

継続課題

研究種目	研究課題名	交付金額（円）
基盤研究（C）一般	認知症の高齢者に対する色彩を用いた転倒予防策の検証	650,000
基盤研究（C）一般	病院看護部が自然災害に対して備える方略と備え対策を継続実施できるシステム構築	1,560,000
基盤研究（C）一般	ストレスによる機能性胃腸症の発症メカニズム解明とイメージングバイオマーカーの開発	1,170,000
基盤研究（C）一般	浸透圧負荷に対する血管内皮細胞の応答のバイオメカニクス	1,300,000
基盤研究（C）一般	非接触計測型IoTセンサモジュールを用いた日常場面でのストレス評価システムの開発	1,430,000
基盤研究（C）一般	看護の質の本質の解明ープロフェッショナリズムと職務モチベーションについてー	1,950,000
基盤研究（C）一般	「平衡障害に対する新規治療法の開発」ーiPS 細胞による前庭再生医療ー	650,000
基盤研究（C）一般	認知症予防を目的とした回想法が老年期の認知機能に及ぼす効果に関する研究	780,000
基盤研究（C）一般	骨髄由来細胞が分泌する神経再生因子の解析ー脊髄損傷の治療に向けてー	1,170,000
基盤研究（C）一般	糸球体内皮細胞の場に応じた領域特異性の確立：腎炎発症進展解析の新たなアプローチ	1,300,000
若手研究（B）	脈絡叢を介した神経再生メカニズムの解明	1,560,000
若手研究	高齢者における呼吸筋力増強のための水中運動強度の検討およびプログラムの作成	2,080,000
挑戦的研究（萌芽）	大和言葉を手掛かりとした日本人の身体名称、および身体観についての研究	1,170,000

その他、奨学寄附金 3 件（3,000 千円）、AMED 事業の分担研究（130 千円）を獲得しました。

②中央研究施設の活動

ア．研究の概要（中央研究施設のスタッフの研究）

（ア）脊髄損傷の治療法の開発

これまで、骨髄由来の細胞（骨髄間質細胞、骨髄単核細胞）と脈絡叢上皮細胞の移植効果を調べてきました。それらの細胞は宿主脊髄に生着することではなく、移植後間もなく消失します。一方、骨髄細胞の培養上清は、細胞移植と同様かそれ以上の効果を発揮することが分ってきました。脊髄には内因性の再生能力が備わっていることが分かります。その内因性再生に関与する細胞が脊髄中心管の上皮細胞であることも明らかになってきました。本研究施設では脊髄損傷に伴う上皮細胞の増殖パターンを明らかにしました。その過程で、脊髄尾側端に続く「終糸」の上皮細胞の移植によって脊髄損傷治療法が可能ではないかという立場から、脊髄の終糸を構成する上皮細胞の増殖・移植による脊髄損傷の治療法を目指しております。現在は終糸由来の上皮細胞の培養方法が確立されて、損傷脊髄に移植する手筈が整いつつあります。培養方法について接着培養あるいは **neurosphere** による培養のどちらを選択すべきかを検討しております。終糸は臨床的に切除しても機能的障害がないことが分かっており、自家移植が可能で、安全性は保証されます。本研究は、終糸の上皮細胞を移植に用いる研究として恐らく世界に先駆けており、脊髄損傷の治療に新しい基軸を拓くものです。

これと並行して、特殊コラーゲンの利用による脊髄損傷の治療を調べています。この特殊コラーゲンは再生軸索の伸長を促進する機能があり、損傷脊髄に埋植するとその中を通して無数の再生軸索が伸びることが分かっております。すでにこの研究は国内特許及び国際特許を申請してあります。2019年8月にPCT国際特許の公開がなされました。現在この特殊コラーゲンをを用いてラットの歩行機能の改善を統計的に調べております。

（イ）移植した上皮細胞が培養条件によってどのような細胞に分化するかを調べております。

（ウ）特殊コラーゲンが培養系で神経突起の伸長を促進するメカニズムの研究を開始しました。

イ．研究成果

（ア）著書・論文等 2編

（イ）特許の公開 PCT国際特許が公開されました。

発明の名称：神経細胞培養および神経損傷治療剤

出願日： 2019年8月8日

出願人： 学校法人 近畿大学

学校法人 藍野大学

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

公開番号：WO2019/151450

（ウ）学会発表等 12件

ウ．外部機関との共同研究

（ア）北野病院形成外科（鈴木義久部長）との共同研究 「骨髄間質細胞の髄液経由移植による臨床応用」に関して、現在Ⅰ/Ⅱ相の段階で進めています。

（イ）次の2者との共同研究

近畿大学 生物理工学部（森本康一教授）

神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター (TRI)

研究課題：「神経組織を再生させる機能を有する細胞足場マトリックス創製」

エ．研究施設で行われる動物実験の研究課題（動物実験委員会への申請課題）13 件

オ．卒業研究の学生の指導

中央研究施設のスタッフによる指導学生の研究 4 件

カ．外部資金の獲得

科学研究費 基盤研究 (C) 一般 1 件、若手研究 (B) 1 件

(3) 社会貢献活動

教員免許状更新講習をはじめとする本年度の社会貢献活動の実施結果については、次のとおりです。
また、例年実施している学生自治会が中心となった大学近隣の清掃を 6 月と 11 月に行いました。

①教員免許状更新講習

実施月日	テ ー マ	修了者数	収 入
8 月 19 日	I 「発達障害の理解と児童生徒への支援」	103 人	¥2,352,000
8 月 20 日	II 「不良姿勢の評価と予防体操」	100 人	
8 月 21 日	III 「新しい視点からみたいじめと LGBT」	99 人	
8 月 22 日	IV 「教育相談の技法と実践」	85 人	

②市民公開講座

実施月日	テ ー マ	受講者数
8 月 31 日	超高齢化社会を支える住まいと暮らし ～歳を重ねてもその人らしく暮らすコツ～	92 人
9 月 14 日	認知症予防 ～始めよう！脳と身体を使ったエクササイズ～	60 人
	男性の排尿トラブル	42 人

③リビング子ども大学

実施月日	テ ー マ	受講者数
8 月 23 日	モデル人形で赤ちゃんの看護を体験	親子 19 組 38 人
	肺呼吸の模型作りと医療機器見学	親子 17 組 34 人

(4) 藍野大学中央図書館

①年間受入資料（2020 年 3 月 31 日現在）

		図書			製本雑誌			AV 資料		
		和	洋	合計	和	洋	合計	和	洋	合計
受入 区分	購入（含消耗品）	1,129	2	1,131	342	69	411	5	0	5
	寄贈	223	4	227	0	0	0	1	0	1
合 計		1,352	6	1,358	342	69	411	6	0	6

②年間購読雑誌

	和雑誌		洋雑誌		合計
	専門	一般	専門	一般	
2019 年度	175	17	44	0	236

③購入電子資料

医中誌 Web、最新看護索引 Web、メディカルオンライン、国立情報学研究所学術コンテンツポータル機関定額制利用

④年間開館日数

	開館日数			開館時間数		
	平日	土・日・祝	合計	平日	土・日・祝	合計
2019 年度	239	100	339	3,020	896	3,916

⑤年間入館者数

	入館者数		
	平日	土・日・祝	合計
学内・関連機関	93,330	9,934	103,264
うち学外利用者	194		

⑥対外活動

看護図書館協会企画による重複雑誌交換事業に継続参加し、全国看護系図書館間で資料の譲渡、提供など、学術資源の活用を行いました。

⑦その他

本年度から図書館業務が委託となりました。更なる図書館の利用促進を図るために、まず図書館入りロスペースを利用し、その時期の旬なテーマに沿った資料の展示を行いました。

Windows7 サポート終了に伴う館内業務用・利用者用両端末の入れ替え及び図書館システム「情報館」のバージョンアップを完了しました。これまで支障となっていた点も解消され、円滑な業務の遂行につながりました。

また、館内整備においても不具合の続いた空調工事等の一部を完了し、手狭になった書架の整理や資料の移動など、快適な利用環境の提供に努めています。効率を考えた業務スペースの確保も行いました。

(5) 藍野大学キャリア開発・研究センター

①キャリアサポート

「AINONAVI」を利用することにより、学生が自宅のパソコンやスマートホンからいつでも求人情報が閲覧でき、就職希望条件に応じた検索によって、就職活動の利便性を図っています。同時に各施設から送付されてくる求人案内は、エリアごとに仕分けて、閲覧しやすいように棚に並べています。

また、独自で「AINONAVI」に入力いただいている施設は、施設案内や奨学金案内等オリジナリテ

豊富な情報を登録いただいております。学生が一早く欲しい情報を収集することができ、教職員が学生の指導を行う際にも非常に役立っています。

②看護キャリアアップ支援事業

ア．認定看護管理者教育課程について

公益社団法人日本看護協会認定の認定看護管理者教育機関として、2014年度からファーストレベル、2017年度からセカンドレベルの教育課程を継続的に開講しており、本年開講の実績は次のとおりです。

(ア) ファーストレベル

2019年11月7日～12月21日（定員40名）

受講者44名・修了者44名

(イ) セカンドレベル

2019年7月25日～10月19日（定員35名）

受講者26名・修了者26名

ファーストレベルは開講から6年、受講希望者も定員を超える応募となり、順調に運営しています。セカンドレベルは本年度、各府県の看護協会と開催期間が重なったこともあり、定員を満たすことができませんでした。

受講者募集活動については、大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県・和歌山県・奈良県の医療機関及び本学の看護系卒業生に対しPRを行いました。

イ．講演会・セミナー及びセカンドレベル公開講座の実施について

看護キャリアアップ支援事業の一環として、看護師有資格者全般を対象とする講演会・セミナーを計2回、認定看護管理者教育課程セカンドレベルの講義を公開講座として2回実施しました。

(ア) 講演会・セミナー

第1回

日時：2019年7月27日（土）9：45～12：45
場所：AINOPIA BUILDING 2F アルバスホール
講師：京都大学大学院医学研究科 教授 任 和子
テーマ：「ファースト・セカンドレベル スキルアップ研修①
どう書く??課題レポート・小論文」
受講者数：一般参加者69名

第2回

日時：2019年7月27日（土）13：45～16：45
場所：AINOPIA BUILDING 2F アルバスホール
講師：社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 前原 陽子
テーマ：「ファースト・セカンドレベル スキルアップ研修②
どう使う??問題解決フレームワーク」
受講者数：一般参加者62名

(イ) セカンドレベル公開講座

第1回

日 時 : 2019年8月3日(土) 9:45~16:45
場 所 : AINOPIA BUILDING 2F 講義室
講 師 : 日本看護協会 副会長 齋藤 訓子
講義名 : 「ヘルスケアシステム論Ⅱ」 保健医療福祉サービスの現状と課題
・保健医療福祉サービスの提供内容の実際
・病院看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等

第2回

日 時 : 2019年9月28日(土) 9:45~16:45
場 所 : AINOPIA BUILDING 2F 講義室
講 師 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事 橋本 廸生
講義名 : 「質管理Ⅱ」 看護サービスの質保証
・クオリティマネジメント
・医療の質とは
・医療安全の原理
・事故発生時のアセスメント・対応

昨年度から実施しているファーストレベル及びセカンドレベル受講を視野に入れた方々を対象に「どう書く??課題レポート・小論文」をセミナーとして行い、本年度から「どう使う??問題解決フレームワーク」も取り入れた結果、本学での受講希望者の参加もあり大変好評でした。

また、セカンドレベルにおいては、管理者として特に興味深いと思われる講義の中から2つのテーマを公開講座として開放し、管理者として更なる学びを深めたい方々に参加いただきました。

なお、講演会・セミナーの受講者募集は、近畿圏内の各病院にリーフレットを郵送の上、講演会・セミナー受講のご案内に施設を訪問しており、毎回多くの病院からお問い合わせ、受講申し込みをいただくと同時に、過去に受講された方々のリピート率が非常に高く、講義内容の質が高く評価されていると感じました。今後、更に本学の認知度を高めるとともに、看護師のキャリアアップに貢献し、ファーストレベル・セカンドレベルの受講者募集に繋げていければと考えています。

③スカラシップ就学支援事業

求人情報システム「AINONAVI」では、求人情報のみならず、病院奨学金制度のある病院を検索できるようにシステム化し、奨学金を必要とする学生に情報の提供を行っています。今後、さらに内容の充実を図っていく予定です。

2. 藍野大学短期大学部

(1) 主な活動と今後の課題

①教育活動方針

基礎学力の向上を図るため、入学前教育、リメディアル教育の拡充を図ったが、その活用までには至りませんでした。

また、2018年度にはオンライン教材を見直したが、計画していた教育支援システム「manaba」の導入までには至らず、2020年度以降の導入を目指すこととなりました。

②地域貢献活動の推進

茨木キャンパスは、地域連携推進室を中心に、2016年度から実施している公開講座「健康長寿講座～生き生きと死を迎えるために～」を全8回の講座として実施しました。また、本年度、「高齢者の栄養学」という新たな講座を開講しました。2019年度は、40名の申込があり、そのうち先着順で受講生を決定し29名が修了しました。

2019年度 健康長寿講座 全8回

回	日程	内容	講師
1	10/2(水)	開講式 「人体の不思議①」	地域連携推進室 室長 田中 俊典 (医師)
2	10/9(水)	「人体の不思議②」	地域連携推進室 室長 田中 俊典 (医師)
3	10/16(水)	「介護することとは～基本の介護技術～」	社会福祉法人藍野福祉会 特別養護老人ホーム 青藍荘 青藍荘スタッフ
4	10/23(水)	「認知症予防 スリーAプログラム」	NPO 法人 スリーA 関西支部・桜草支部長 福井 恵子
5	10/30(水)	「高齢者の栄養学」	甲南女子大学 准教授 東根 裕子
6	11/6(水)	認知症「認知症診療の現在と未来」	医療法人恒昭会 藍野病院 院長 杉野 正一
7	11/13(水)	「グリーフケア」	副学長 飯田 英晴
8	11/20(水)	「生死と医療－関係性の死を中心に－」 修了式	学長 佐々木 恵雲 (医師)

また、青葉丘キャンパスでは、市民公開講座として、「認知症サポーター養成講座」、親子を対象とした「ベビーマッサージ」を2回、子育てを一段落した世代対象の「現在の子育て 懐かしい子育て」を各1回実施しました。

2019 年度 青葉丘キャンパス市民公開講座 全 4 回

回	日程	内容	講師	参加人数
1	7/11(火)	「ベビーマッサージ」	専任教員	8 組 (16 名)
2	8/22(木)	「認知症サポーター養成講座」	キャラバン・メイト	43 名
3	10/11(金)	「ベビーマッサージ」	専任教員	7 組 (14 名)
4	1/17(金)	「現在の子育て 懐かしい子育て」 子育て・孫育てを応援したい方へ	専任教員	2 名

2014 年に富田林市と青葉丘キャンパスは、法人所有施設の使用に関する協定を締結しており、災害時一時避難場所となっています。防災資機材等の設置については、学内の設置場所の検討結果を富田林市危機管理室と調整中で、2020 年度以降に持ち越しとなりました。

③メディカル・ヘルスイノベーション研究所

2018 年 9 月に設置したメディカル・ヘルスイノベーション研究所の 3 つの領域である医学領域・公衆衛生領域、メンタルヘルス領域、子育て・発達支援領域の各活動は以下のとおりです。

また、研究所の活動を広めるためにホームページの開設に取り組んでいます。

ア. 医学領域・公衆衛生領域

本学の客員教授・客員准教授の 4 名に加えて研究員 6 名を受け入れ、講演会や講習会などの講師を務めるとともに、各自研究活動を積極的に行っています。また、外部資金の獲得にも力を入れており精力的に活動しています。

イ. メンタルヘルス領域

本学学生や教職員はもちろんのこと卒業生や保護者も対象に心理相談を行う窓口の設置、また地域住民を対象に高齢者うつやグリーフケア相談、自死予防などのメンタルヘルスに関する公開講座の実施やグリーフサポーター養成講座の開講などを企画しています。2019 年度中には、実現できませんでしたでしたが実施に向けて引き続き企画調整を行ってまいります。

ウ. 子育て・発達支援領域

2020 年 4 月 1 日から学校法人で行う付随事業として「あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション」を開設することができました。今後は、以下の役割を担うこととしています。

◇学生の実習場の一つとしての役割を担う。

◇教員の実践能力（実務）の維持・増進の場としての役割を担う。

◇教員の研究フィールドとしての役割を担う。

◇専門職として就職した本学卒業生の質の向上を目的に、自律的に生涯にわたって最新の知識と技術を学び続ける場としての役割を担う。

④教育研究活動の支援

研究や教育活動に貢献した教員に対して表彰を行う制度の整備を行うこととしていましたが制定には至っていません。継続して検討を進める予定であります。

副学長・学科長の主導のもと、学術研究への取り組みを促し、科学研究費助成事業等の外部資金の獲得に向け2名の教員が科学研究費助成事業に応募しました。結果は、採択に至りませんでした。次年度においても引き続き積極的な取り組みを促していきます。

また、全教育職員に対して、研究者としての意識向上のために研究倫理教育やコンプライアンス教育の充実を図るため、研究倫理委員会や外部資金の獲得に係る規程の見直しを随時行いました。

その他、教員の学位取得を推進し、2019年度には2名が修士、1名が博士の学位を取得しました。

⑤私立大学等改革総合支援事業に選定される取り組み

私立大学等改革総合支援事業に選定される事を目標とし、特色ある教育研究の推進に取り組んでまいりましたが、2019年度は選定条件の変更もあり、十分に達成できたとはいえませんでした。

⑥ファカルティ・ディベロップメント（FD）の推進

FD推進委員会を設置し、予定していた5回の研修に加えて、臨時で3回追加し、教員の教育力向上、学生への対応などを目的に計8回の研修を実施しました。第2回目では外部講師として、日本アンガーマネジメント協会所属の池田真茶先生（シニアファシリテーター）を迎え「アンガーマネジメント」について研修を行いました。

また、コンプライアンス教育についての研修は、研究倫理委員会との共催で、SD研修の一環としても実施しました。

2019年度 FD研修

回	日程	内容	講師
1	4/22(月)	国家試験対策	藍野大学 医療保健学部 理学療法学科 平山准教授・青山講師
2	7/16(火)	アンガーマネジメント	池田真茶先生
3	8/30(金)	①アクティブ・ラーニングの実践 ②学生の気持ちに寄り添った教育 ～寄り添うことは意外と難しい～ ③学生募集について	①飯田副学長 ②足利学科長 ③佐々木学長
4	9/26(木)・ 10/9(水)	①コンプライアンス教育 ②科学研究費公募について ※研究倫理委員会共催	①飯田副学長 ②事務部 総務課
5	12/19(木)	研究論文発表	第一看護学科専任教員 (白石講師、島講師、藤岡助教)
6	1/8(水) ・2/5(水)	学修成果を巡る諸問題	飯田副学長
7	2/4(火)	"SNSは人を感情的にさせる？ ～学生とやりとりする際に心がけること～"	第一看護学科 足利学科長

8	3/23 (月)	"この1年間の私の教育を振り返って、成功例と失敗例"	—
---	----------	----------------------------	---

⑦自己点検評価

2017年度に受審した一般財団法人短期大学基準協会の第三者評価の結果を踏まえ、独自の評価を行い、活動報告書を作成し学内外へ公開するため、評価方針やマニュアル等の整備を進めていくこととしておりましたが滞っている状況であります。2020年度も引き続き取り組んでまいります。

⑧教育環境の整備

茨木キャンパスの耐震補強工事・教室の視聴覚機器の補修を行い、より良い教育環境の整備を行いました。

青葉丘キャンパスは、台風21号による被害で屋上防水層の剥離等があり、5階建て校舎の屋上を全面的に修復しました。老朽化も進行しており、2020年度以降も順次改修の計画を行ってまいります。

(2) 学科の計画

①第一看護学科

ア. 教育内容の充実

(ア) 担任制、チューター制の実施

学生の日常生活指導のための担任・副担任制、学生から好評を得ているチューター制を引き続き実施しました。

(イ) 学内演習の充実

学内演習では2クラスに分割し、看護技術をより習得しやすくするため環境を整えました。また、1年次の総まとめの科目として、統合実践看護を開講し、2年次開講の臨地実習前の看護技術の到達度を確認しました。

(ウ) マナー講座の実施

学生のマナー向上を目的として、第一看護学科においては、1年生を対象とし学外実習前に外部業者による実習前マナー講座を実施しました。また、本格化する就職活動に向けて就職活動準備講座、履歴書・面接対策講座を実施し、学生の意識と意欲の醸成を図りました。

イ. 2019年度 看護師国家試験への取り組み

(ア) 看護師国家試験の結果

新卒			既卒		
受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
104名	91名	87.5%	17名	9名	52.9%

(イ) 看護師国家試験対策

- ・国家試験対策に専念できるよう後期カリキュラム調整の実施
- ・チューター制度（面談、出席指導）

- ・専任教員による国家試験対策特別講座
- ・習熟度別クラスによる国家試験対策授業の実施
- ・外部講師による国家試験対策講座
- ・保護者への協力依頼（模試成績送付）

以上のことを実施したが、国家試験の合格率は全国平均には及びませんでした。

（ウ）1年生に対する国家試験対策の実施

1年生に対して、国家試験に対する意識付けと学力の把握を行うため、業者による国家試験ガイダンス1回と講座2回を実施しました。本模擬試験の結果については2年次での指導に活用いたします。

ウ．藍野高等学校との連携強化

短期大学部と高等学校の教員が、情報交換会等を通じて相互理解を深め、連携を強化しました。

②第二看護学科

ア．教育内容の充実

（ア）担当制・チューター制の実施

学生生活への不適応から起こる学習への支障を減らすことで、学生生活が充実したものになるよう、サポート体制を強化しました。

（イ）アクティブ・ラーニングの推進

講義や演習の中で、グループディスカッションやプレゼンテーション等を取り入れ、学生が能動的に物事に取り組む機会を多く作りました。取り組んだ成果を SAYAKA ホールにて発表を行ったことで、学生の意欲向上に繋がりました。

（ウ）マナー講座の実施

思いやりの心を持った接遇行動が取れるよう、外部講師によるマナー講座や教職員との関わりを通してマナー向上を図りました。

イ．看護師国家試験合格率の向上

（ア）専任教員全員によるチューター制の継続、指導の強化

（イ）外部講師による国家試験対策講座の実施

（ウ）臨床での学びと机上の学習を繋げることや、臨床に即応した問題への対応を意識した指導を行うことで、知識の定着を図りました。

(エ) 看護師国家試験の結果

新卒			既卒		
受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
69 名	58 名	84.1%	11	4	36.4%

以上のことを実施しましたが、国家試験の合格率は全国平均には及びませんでした。

ウ. 地域貢献活動

「ベビーマッサージ」、「認知症サポーター養成講座」、「現在の子育て 懐かしい子育て」等の市民公開講座を開催しました。

③専攻科（地域看護学専攻）

ア. 地域貢献活動

講義による知識の習得だけでなく、実際に市民を対象に行われている「ゲートキーパー養成講座」や「認知症サポーター養成講座」などの実践的な講座の実施や、関係機関等で従事している様々な専門職、難病当事者などをゲストスピーカーに招き、保健師としての力量形成を図っていくための授業展開を行いました。

また、公衆衛生看護実習ⅠからⅢにおいては、現状に則した活動を学ばせるため、対象者、実習施設等の充実を図りました。実習Ⅰ（継続訪問実習）においては、地域の関係施設との連携を図ることで対象者の幅を広げ、実習Ⅲにおいては地域包括及び産業保健の分野の実習施設について、地域包括支援センターや企業などさらに拡大していくことができました。

ゲートキーパー養成講座

日時	内容	参加学生数
2020 年 2 月 27 日（木）	自殺危機初期介入スキルワークショップ ～ゲートキーパースキルワークショップ～	10 名

認知症サポーター養成講座

高齢者保健指導の講義の 1 コマとして、認知症サポーター養成講座を実施しました。

日時	参加学生数
2019 年 5 月 31 日（金）	39 名

メンタルヘルスマネジメント検定

心の健康管理の知識と技術を身に付け、将来の保健師活動のスキルアップに役立てることを目的として、メンタルヘルスマネジメント検定試験を実施し、下表のとおり受験しました。受験にあたり、メンタルヘルスマネジメント検定対策講座を 2014 年度から引き続き実施しました。本年度は、藍野大学生も 2 名受験しました。

受験者			合格者	
Ⅱ・Ⅲ両方	Ⅱ種のみ	Ⅲ種のみ	Ⅱ種	Ⅲ種
25 名	0 名	0 名	22 名	23 名

イ. 2019 年度 保健師国家試験への取り組み

(ア) 保健師国家試験の結果

新卒		
受験者	合格者	合格率
40 名	39 名	97.5%

(イ) 保健師国家試験対策

- ・保健師国家試験対策模試の実施（計 3 回）
- ・外部業者（さくら国試サポート）による保健師国家試験対策講座の実施（12 コマ）
- ・保健師国家試験対策用のオンライン教材の導入
- ・専任教員による成績下位学生への面談・指導

以上の取り組みの結果、令和元年度の国家試験の結果は 97.5%という結果になりました。

ウ. 専攻科学生の個人研究支援

大学改革支援・学位授与機構の審査による学士の学位取得を促進するため、審査に必要な専攻科学生の個人研究を支援しました。その結果、大学改革支援・学位授与機構への学位申請を予定している学生は 22 名となりました。

エ. 地域貢献活動

(ア) 子育てサロン「だっこ」

2013 年度から実施している子育てサロン「だっこ」は、学生を主体とし、地域ボランティアの連携協力を得ながら 4 回実施しました。内容・参加者は以下のとおりです。

日 時	内 容	参加人数
7/23（火）	初めての Summer Vacation ～ 夏の日常にひそむキケン～	14 組
7/26（金）	脱水から赤ちゃんを守ろう！！	15 組
8/27（火）	子育ていらいら解消するには	10 組
8/30（金）	絵本を読んでみよう	14 組
合 計		53 組

(イ) 例年、茨木市南茨木多世代交流センターにおいて、専攻科学生が健康教育を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

(3) 学生募集

①茨木キャンパス（第一看護学科・専攻科）

ア．学校訪問

第一看護学科・専攻科の対象となる高等学校衛生看護科及び准看護師養成校、看護課程の学校（主に専門学校、高等学校看護専攻科）合計 187 校への学校訪問を実施しました。訪問時には、在学生・卒業生情報の共有と同時に、本学の新たな取り組みや魅力について案内を行いました。訪問を行うなかで、本学へ興味を持つ学生との対話時間を設けていただく学校もあり、大学情報や入試情報などの質問をその場で回答することで、不安を解消することができました。

イ．広報

入学希望者が知りたい内容を要約した学科情報のページ編集を行いました。入試情報について、入試ガイド情報や志望理由書、推薦書などダウンロードする場所が分かりにくいなどの声があり、そのため、すぐさま 1 ページに集約化し、入学希望者にとって分かりやすいページ形式に変更を行いました。また、SNS「Instagram」についても更新頻度をあげ、受験生に対して瞬時に情報発信をするよう努めました。

ウ．高大連携・オープンキャンパス

9 月に長崎県にある公立高校、11 月に山口県にある私立高校へ出張講義を実施しました。高校生が専門的で実践的な短期大学の授業にふれることで、進学に対する意識を高めることに成功しました。オープンキャンパスでは、第一看護学科において来場者合計 118 名（前年比－19 名）、専攻科（地域看護学専攻）において来場者合計 241 名（前年比＋40 名）となりました。在学生スタッフのプログラム露出を増やすことで、来場者に親近感をもって参加してもらうことを狙いとししました。来場者のアンケートでは「在学生が優しく質問に答えてくれるので、不安が解消されました。」や「在学生トークショーを聴いて、入学後のイメージができました。」など入学希望へとつながる手応えを得ることができました。

エ．入試制度

2021 年入試改革に伴い、「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価する入試方式を年間通じて議論を重ね構築しました。2020 年度入試では第一看護学科において出願者合計 95 名（前年比－14 名）、専攻科（地域看護学専攻）において出願者合計 228 名（前年比±0 名）となりました。第一看護学科では准看護師有資格（見込）者数が減少しているなかでの本学への進学訴求、専攻科（地域看護学専攻）では新規受験者のさらなる増加を狙った広報活動などが、次年度の課題として挙げられました。

②青葉丘キャンパス（第二看護学科）

ア．資料請求者の増加と募集定員の確保

2019 年度中に行われた 2020 年度入学生に対する入学試験では、従来の選抜方式に加え、大学入試改革を見据えて AO 入試（高大接続型）を導入し、早期から勉学に対して明確な目的と意欲を持

つ優秀な入学者を確保することができました。入学定員充足率は 120%となり、安定的に定員を確保しています。

さらに 2021 年度の学生募集に向けて、大学入試改革に伴う入試制度を見直し、アドミッション・ポリシーの変更や選抜方法、「学力の 3 要素」を多面的、総合的に評価できるよう新入試制度を導入予定であります。

2020 年度入学生 第二看護学科入学試験状況（過去 4 年対比表）

入試状況			2020 年	2019 年	2018 年	2017 年
入試 志願者数	延数合計		175	187	207	188
	実数合計		152	159	168	156
	実数内訳	高校生	139	131	139	112
		社会人	13	28	29	44
入学者数			96	89	90	96
入学定員充足率（％）			120.0	111.25	112.5	120.0

2019 年度の広報戦略において、第二看護学科の付加価値を訴求するため、藍野大学短期大学部内（第二看護学科、専攻科）の進学による 3 年間＋1 年間で取得する看護師・保健師の資格と「学士」の取得を推奨し、印刷物やホームページなどでブランディング・ブランド力の強化を図りました。

高大連携事業においては、協定校のさらなる拡大を図り、新規 2 校（学校法人樟蔭学園 樟蔭高等学校、大阪府立東淀川高等学校）と高大連携の協定を締結しました。高校生が藍野大学短期大学部での学びに対する理解を深め、自発的に将来の進路について考えることができるプログラムを引き続き推進してまいります。

オープンキャンパスはコンテンツの見直しや AO 入試と連動させることにより、開学以来最多来場者となる 235 名（昨年比 126%増）を動員することができました。

また、出張（模擬）講義、進学説明会、高校訪問、来学者対応及びオープンキャンパス等の接触者（受験生・保護者等）等のステークホルダーに対して、明確で一貫した“強み”や、「良さ・メリット」の周知と「共感・関心」を持たせることにより、資料請求者数は 2,112 名（昨年比 150%増）となりました。

2020 年度入学生 第二看護学科オープンキャンパス状況（過去 4 年対比表）

広報状況		2019 年	2018 年	2017 年	2016 年
オープンキャンパス 来場者数	延数	235	186	163	178
	実数	199	151	154	154
資料請求者数		2,112	1,412	1,657	1,427

(4) 学生支援

①キャンパス共通サポート

ア. 学生支援推進室

学生の心理的な悩みに関する相談などに対応するとともに、学生委員会やスクールカウンセラー

とも連携を図りながら、きめ細かい学生支援を行いました。また、卒業時アンケートの実施などを通して、本学の学習支援や各種サポート体制についての把握・改善につなげました。

イ．学生連絡網の新規導入

2018 年 6 月に発生した大阪北部地震を教訓として、災害時の安否確認に特化して活用するため、本学と学生間をつなぐ連絡システム「さくら連絡網」を新たに導入しました。

ウ．スクールカウンセラー

スクールカウンセラーによるカウンセリングを継続して実施（毎週 1 日）しました。これまで行っていた「学生相談申込ボックス」や「学生相談申込用紙」を常設することで、より周知が進み、定期的に利用する学生はもとより、学位記授与式を終え、就職する直前まで相談に訪れる等、学生相談の窓口として広く定着しました。

エ．求人情報システム

本学への求人票は全学的な求人情報システム「AINONAVI」での管理を継続し、近年の就職環境の変化に対応するため、より早い段階でのシステム登録・使用説明を実施し、早期の就職活動につなげました。

②茨木キャンパス（第一看護学科・専攻科）

ア．学生生活サポート

日々の生活面における学生相談や修学支援に関する対面でのサポートはもちろん、WEB や SNS を用いた時間や場所を選ばない一人ひとりに寄り添う支援を展開しました。また、学生寮でも常に寮生とコミュニケーションを図ることで、安心・安全な生活環境を提供しました。

イ．キャリアサポート

看護系大学が増加傾向にあるなかで、各種就職ガイダンス（スタートアップ講座、履歴書・面接対策講座、マナー講座）を例年よりも 2 ヶ月前倒しして開催し、これまでより早く就職活動をスタートできる体制を整えました。また、個別での履歴書添削や模擬面接対策を強化し、早期の内定獲得につなげました。

ウ．学生行事サポート

第一看護学科では、藍野大学と共催する学園祭（あいの祭）において趣向を凝らした模擬店を 5 店舗出店し、過去最高の収支結果を得たことで学生満足度の最大化に寄与しました。また、専攻科においては年度当初に教育施設見学を兼ねた昼食会を行い、学生同士の親睦強化を図りました。

③青葉丘キャンパス（第二看護学科）

ア．学生行事、学生活動の支援

青葉祭は学生主導に重きを置き、例年のお笑いライブに加え近隣住民、特に子どもに楽しんでもらえるような企画を立案しました。（ダンスコンテスト、縁日等）

春には富田林市にある広大な敷地の錦織公園で親睦会を全学年で開催し親睦が深まりました。ス

スポーツレクリエーションは新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

イ．就職説明会等の実施

就職活動前に対象学生に向けて、求人情報システム AINONAVI の使用方法を説明し活用を促しました。就職活動に必要なマナーや就職に対する意識付けの強化を目的として、2 年生を対象として 2 月に履歴書・面接講座、就職活動準備講座を実施し、1 年生を対象として 4 月に就職セミナー、2 月に実習前マナー講座を実施し、学生のマナー、身だしなみ、就職に対する意識を高めました。

また、2 月に 2 年生を対象に実習病院を主とした就職説明会を行う予定でありましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

(5) 事務運営

スタッフ・ディベロップメント (SD) の推進

大学行政管理学会総会、大学行政管理学会 財務問題研究会・財務研究グループ合同研究会、日本私立短期大学協会の入試担当者研修会、教務担当者研修会、経理事務担当者研修会、学生生活指導担当者研修会などの研修会に積極的に参加し、知識、技能及びマナーの向上を図り、得た知見を学生支援や事務運営に活かしています。

また、参加した研修会で得た資料や情報は、担当以外の業務に関しても理解を深めるため、事務職員間で情報交換を行い共有しています。

3. 藍野高等学校

(1) 教育活動

藍野高等学校（以下「本校」という。）で学ぶ生徒の「興味・関心」、「能力・適性」等の多様化が顕著となる中で、将来を見据えた生徒一人ひとりの可能性を引き伸ばす教育を実践し、一般教科の基礎・基本的学力の定着と、看護教科（衛生看護科・准看護師養成課程）の専門知識の習得を目標にした取り組みを行いました。

本校では、基礎学力の高い生徒（入学時の成績）の割合が年々多くなってきている一方で、下位層の生徒も例年一定数入学してきている現状があります。本校が継続的に取り組む大きな課題として、上位層の学力をより一層伸ばすとともに、下位層の基礎学力を引き上げていく必要があります。そのため、単に「准看護師試験合格」を目指すのではなく、卒業後、大半の生徒が進学する藍野大学短期大学部での「看護師国家試験合格」に繋げるため、一般教科での基礎学力の更なる向上と、看護教科においては高等学校卒業時における「看護師国家試験の必須問題」クリアを目標に以下のような取り組みを行いました。

一般教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・基礎力診断テスト（英・数・国）の実施による生徒の学力把握と補習を含む学習指導の強化
- ・基礎力診断テストによる学力グループの編成と検証
- ・定期考査の補習充実
- ・長期休暇中の課題・補講の実施

- ・学力底上げのための教材準備
- ・学習意欲の高い生徒への支援教材の作成
- ・朝学習の実施（生徒の主体的な学習の取り組み）

看護教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・准看護師試験模擬試験の実施（1年生から計画的に実施）
- ・定期考査の補習充実
- ・長期休暇中の准看護師試験対策に関する補講（習熟度別）の実施
- ・看護レポートの書き方等についての表現力養成講座の実施

教育の内容・水準を担保するため、高等学校学習指導要領に沿った内容の授業が展開することはもちろん、より生徒の満足度を高めるための努力を行いました。具体的には、基礎学力診断テスト、定期考査の結果を受け、速やかに個別面談を行うとともに成績に応じた適切な教材を作成し、補講を行なうことで学習意欲の向上を図りました。また、教員の資質向上を図るため、夏期の教科研修会等に担当教員が積極的に参加し、その成果を教科指導に生かす取り組みなどを行いました。

一方、本校の教育方針である「高い学力と豊かな人間性を備え、将来の社会に貢献できる自立した医療人を育成する」の一環として、基本的生活習慣とマナーの確立、自主性・主体性の伸長を目指し、挨拶の習慣化や家庭との連携を密にすることに努め、委員会活動・学校行事を通し指導を行いました。

本校の組織運営体制の改善・充実を図るために、学校評価（自己評価・学校関係者評価）を前年度に引き続き実施しました。引き続き PDCA サイクルの意識を高め、改善を進める体制を継続しています。

看護専門科目については、以下の「教科目標」を定め、昨年度同様に継続して実施しました。

教科目標

看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てることを目標としています。

①基礎看護

看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解させ、日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的な知識と技術を習得させるとともに、看護を適切に行う能力と態度を育てる。

②人体と看護

看護を実践するために必要な人体に関する知識を習得させ、人体と生活及び環境との関係について理解させる。

③疾病と看護

看護を実践するために必要な疾病、治療及び薬物に関する知識を習得させ、これらと疾病からの回復を促進させるための看護との関連について理解させる。

④生活と看護

看護を実践するために必要な精神保健、生活者の健康及び社会保障制度に関する知識を習得させ、社会生活における医療と保健及び福祉との関係について理解させる。

⑤成人看護

成人の心身、生活、保健及び疾病について理解させ、成人の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑥老年看護

高齢者の加齢、生活、保健及び疾病について理解させ、高齢者の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑦精神看護

精神看護の意義と役割及び精神に障害のある人の看護の実際を理解させ、精神看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑧在宅看護

在宅看護の意義と役割及び看護の実際を理解させ、在宅での看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑨母性看護

母性の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、母性の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑩小児看護

小児の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、小児の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行なうために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

⑪看護の統合と実践

看護に関する各科目において習得した内容を臨床で活用できるよう、知識と技術の統合を図るとともに、看護の専門職として必要な能力と態度を育てる。

⑫看護臨地実習

看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し実践する経験を通して、看護観をはぐくみ、問題解決の能力を養うとともに、チーム医療に携わる様々な職種の役割及び保健医療福祉との連携・協働について理解し、臨床看護を行うために必要な能力と態度を育てる。

⑬看護情報活用

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報の活用に関する知識と技術を習得させ、看護の分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を育てる。

(2) 生徒指導・生徒支援体制

①カウンセリング機能（相談体制）の充実と生活指導の強化

本校では、生徒の修学や日常的な場面の悩みなどに対して、適切かつ迅速に対応し、生徒が安心して学習に取り組むことができるように、継続した取り組みとして「心の専門家」である臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、生徒指導担当等の教員と協力の上、学校内におけるカウンセリング機能（相談体制）の充実を図りました。

また、初期対応を重要視し、担任、生徒指導担当及び看護教員ならびにスクールカウンセラーの定期的なミーティングにより生徒個々の特性を共有認識するなど、早期からの相談体制の継続した取り組みを行いました。2019年度は進路変更希望による転学者が前年比でやや増加しましたが、個人の意思を尊重し、きめ細やかな相談対応を行いました。

併せて、将来の医療人として、挨拶、身だしなみ、基本的な社会規範や生活習慣を身に付けさせるための生活指導を強化しました。また、接遇面も習得する機会となる看護臨地実習との指導方針を統一化した効果が見られ、生徒間のトラブルの発生件数は減少傾向になりました。

2019年度 スクールカウンセラー相談件数（前年度対比）

実施時期	延 べ 件 数		増 減
	2019年度	2018年度	
4月～6月	44	17	27
7月～9月	6	30	△24
10月～12月	14	40	△26
1月～3月	48	35	13
合 計	112	122	△10

②経済的支援

「学業成績優秀学生生徒給付奨学金制度」により、2年次以上の学業成績が優秀であり勉学意欲の旺盛な生徒5名（2年生2名、3年生3名）が本奨学金の給付を受けました。

(3) 准看護師試験

2017年度に1名の不合格者を出した反省を踏まえて、直前の個別指導に力を入れるとともに、関西広域連合以外の他府県の准看護師試験についても積極的に受験するよう指導しました。関西広域連合実施の准看護師試験では1名が不合格でしたが、その生徒は他府県実施の准看護師試験も受験し合格であったため、74名全員が合格することができました。

2019年度卒業生 准看護師試験の結果

学 科	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）
衛生看護科	74	74	100

(4) 進学・就職状況

2019年度における衛生看護科卒業生の進学及び就職状況は次のとおりです。

2019 年度 衛生看護科進学・就職状況

卒業者数（人）	進学者数（人）	就職者数（人）	未定（人）
74（80）	73（77）	0（3）	1（0）

※カッコ内の数値は前年度

（5）自己評価の実施

学校教育法及び同施行規則の学校評価に関する規定に基づき、2018 年度の教育活動その他の学校運営状況について設定した目標や具体計画の達成状況、取り組みの適切さ等の自己評価を行ないました。その結果を、保護者等による学校関係者で教育活動の観察や意見交換等を通じて評価を行ない、学校の状況に関する共通理解と連携体制を築くことができました。また、その結果を対外的にも情報公開し、学校としての説明責任を果たすことができました。

（6）新しい教育課程の設置と生徒募集活動

2019 年度の募集は、従来からの本校の最大の特徴である、『大阪で唯一准看護師の資格取得が可能である』事を関西広域連合（12 府県市）内における希少性を重ねて情報発信しました。一方、今後の医療界における准看護師養成方針の不透明さを考慮し、衛生看護科内に従来の准看護師資格を取得する「衛生看護コース」に加え、四年制大学進学を目指し、藍野大学との高大連携を中心とした新しい教育課程の導入により、専門的に広く医療を学べる「メディカルサイエンスコース」を 2020 年度より新設する方針を決定し募集活動を行いました。「メディカルサイエンスコース」は『藍野大学への特別内部進学が可能』という進路モデルを前面に打ち出し、募集活動では藍野大学の教授はじめ教職員の協力を得て、従来の志願者とは目的意識の異なる受験生の獲得に取り組みました。

生徒募集及びオープンスクールなど各種イベントの広報活動は、特に反響者がある大阪北摂・京阪神地域の学校や、卒業生在校生のいる学校への訪問などベーシックな中学校訪問に加えて、HP の大幅な拡充までは至らなかったものの、インターネット上のリスティング広告や SNS のツールを最大限活用。また、例年同様、関西広域連合（12 府県市）内にある全中学校をはじめ、学習塾への DM でのアプローチを実施しました。

さらに、中学生・保護者との個別面談の件数・頻度を増やすため、本校実施のオープンスクールに加え、集客力の高い合同説明会等の外部イベント（大阪私立学校展、東淀川区 PTA 協議会説明会など 4 カ所）にブースの出展を効果的に行いました。オープンスクールや外部出展では、本校卒業生である短期大学生も参加し、「先輩による学校案内や進路相談」は、中学生にも親しみやすく分かりやすいと好評を受け、個別相談件数及び志願者を大きく伸ばす効果が生じました。

さらには、毎年定期的に依頼を受ける学校に加え、新規の中学校からも出張（出前）授業依頼を受け、計 4 校にて現地向き本校衛生看護科の紹介を行いました。単なる学校紹介だけではなく、中学生に直接看護師の職業を紹介するための貴重な機会となったと考えられます。

こうした募集活動の結果、近畿圏中学校の事前進路相談会への参加件数は 116 件、これに学習塾等からの電話・メール相談を含めると、約 200 件とほぼ前年並みの事前相談件数となりました。

卒業後の進学に関わる「藍野大学短期大学部第一看護学科の募集停止」や「准看護師養成の段階的廃止」等の情報が流布し、中学生・保護者の間で、「短期大学部への進学の可能性」や「卒業後の 2 年制課程への進路」についての不安心理が出願の直前まで大きく影響していましたが、最終的には受験生 122 名、入学者数 102 名の結果が得られました。

4. 滋賀医療技術専門学校

滋賀医療技術専門学校（以下「本校」という。）は、学生募集を停止し、2021年3月の閉校が予定されています。

その中で、在校生に対して理学療法士・作業療法士として必要な知識、技術、社会性を修得させるための教育活動を行ってきました。

また、本校の閉校へ向けた動きとともに、2020年4月開学を目指していたびわこリハビリテーション専門職大学については、2019年9月6日に設置認可がされ、2020年4月に開学しました。

(1) 教育活動

① 学生指導の充実

2018年度に学生の募集を停止しているため、入学生はなく、2年生、3年生のみの在学生となりました。

全員卒業を目標に、個々の習熟度に合わせて、担任や科目担当者が補足授業や小グループでの学習指導ならびに個別面談を頻回に行ってきました。このことが②で述べる国家試験の合格率へとつながったと考えています。

学生の学業、生活面の悩みの内容によっては保護者を交えて面談を行い、学習意欲の維持、向上を図りました。

2020年度は3年生のみとなりますが、この学生たちをしっかりと教育し、国家試験に合格できるように一丸となって取り組みます。

② 国家試験対策への取り組み

令和元年度は、教員の指導の成果もあり、2年生、3年生ともに座学、臨床実習ともに順調に進めることができ、国家試験では以下に述べる通り、全国平均を上回る結果を出すことができ、就職希望者の就職率も100%となりました。

詳細については、理学療法学科では第55回理学療法士国家試験に59人（内、新卒58人）が受験し、55人（内、新卒55人）が合格しました。合格率は93.2%（新卒94.8%）で全国平均86.4%（新卒93.2%）を上回る結果となり、昨年度に引き続き、高い水準を維持することができました。作業療法学科では第55回作業療法士国家試験に34人（内、新卒29人）が受験し、33人（内、新卒29人）が合格しました。

新卒・既卒を合わせた合格率は97.0%で全国平均87.3%を上回る結果となりました。新卒に関しては、全員が合格することができましたが、既卒生で1名の不合格者が出ました。

理学療法学科、作業療法学科ともに、不合格だった学生については、2020年度の国家試験合格へ向けて指導を行ってまいります。

第55回 理学療法士・作業療法士国家試験の結果

理学療法学科

区分	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）	全国平均（%）
新卒	58	55	94.8	86.4 （内、新卒93.2）
既卒	1	0	0.0	
合計	59	55	93.2	

作業療法学科

区分	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）	全国平均（％）
新卒	29	29	100.0	87.3 (内、新卒 94.2)
既卒	5	4	80.0	
合計	34	33	97.0	

③中途退学防止への取り組み

退学者数については、2018年度は16名でしたが、2019年度は5名に抑制することができました。

全員卒業を目標に、補足授業や少グループでの学習指導ならびに個別面談を頻回に行うなど、より細やかな対応をいたしました。

④就職状況

近年の就職試験の倍率が上昇していることを受け、就職説明会を始めとしたエントリーシート記載の指導や面接試験対策などを個別に対応し、国家試験後に就職活動を行った学生も希望に沿った就職先を決めることができました

2019年度における卒業生の就職状況は次のとおりです。

2020年5月1日現在

学 科	卒業者数（人）	就職希望者数（人）	就職者数（人）	就職率（％）
理学療法学科	58	55	55	100.0
作業療法学科	29	29	29	100.0
計	87	84	84	100.0

※就職希望者数・就職率は、国家試験不合格者及び就職意思のない者は除いております。

就職率＝就職者数÷就職希望者数×100

(2) びわこリハビリテーション専門職大学開学に伴う校舎の用途変更申請

びわこリハビリテーション専門職大学の開学に伴い、本校を八日市商工会議所へ移転し、講義に関しては八日市商工会議所4階で行い、学内実習、実技演習等をびわこリハビリテーション専門職大学の校舎において行う旨、申請を行い認可されました。

5. 管理運営の取り組み

2019年度に取り組んだ本法人の管理運営の改善及び事業は、次のとおりです。

(1) ガバナンスの強化

①私立学校法改正に伴う寄附行為変更及び寄附行為施行細則の制定【評価 A】

私立学校法の改正に伴い、文部科学省へ寄附行為変更認可申請を行い、2020年1月15日付で認可を受けました。

また、今回の寄附行為の変更については改正私立学校法の内容にとどまらず、その主旨に鑑み、副理事長及び常務理事3名を配置し、組織体制を強化しました。さらに、寄附行為施行細則を制定し、理事の職務及び責任を明確にするとともに、役員ひとり一人が責任をもち、法人業務における専門分野

の強化に取り組む体制を構築しました。

②ガバナンス・コードの制定【評価 A】

公共性及び公益性を基本として、学校法人藍野大学は、「学校法人藍野大学 ガバナンス・コード」を定めました。

学校法人藍野大学が設置する藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学部は、建学の精神に基づく、私立大学としての使命を果たしていくために、また、教職員はその使命を具現する存在であるために、制定した「学校法人藍野大学ガバナンス・コード」を規範にし、適切なガバナンスを確保して、時代の変化に対応した大学づくりを進めていきます。

また、中期的な計画及び長期的な計画を策定・公表し、学生をはじめ様々なステークホルダーに対し、私立大学の教育、研究及び社会貢献の機能を最大化し、価値の向上を目指していきます。

(2) 将来構想における改組転換

①藍野大学医療保健学部における収容定員増について【評価 A】

藍野大学において、2020 年度からの看護学科及び理学療法学科の収容定員増に係る学則変更の申請を行い、2019 年 7 月 2 日付で学校教育法及び学校教育法施行令に基づき文部科学大臣より認可され、併せて 2019 年 8 月 27 日付で保健師助産師看護師法施行令、理学療法士及び作業療法士施行令に基づき承認されました。

記述の収容定員増に伴い、就学環境の整備として、Medical Learning Commons（以下「M・L・C」という。）を 2020 年 2 月に竣工し、大型の講義室（402 名収容可）や中型の講義室（157 名収容可）、自習室（58 席）やアクティブ・ラーニングをふんだんに取り入れた学習スペースなど、教育的ニーズに合わせた整備を行いました。

また、既存の建物から事務機能を「M・L・C」に移転させ、空いたスペースを活用し演習室・更衣室・教員研究室等の収容定員増を踏まえた改修や指定規則の改正に伴う作業療法学科の演習室等の改修を行いました。これにより、2020 年度からの就学環境を整えました。

②藍野大学短期大学部第一看護学科の改組に向けた方向性についての検討【評価 C】

藍野大学短期大学部が設置する将来構想検討委員会で検討中。

③びわこリハビリテーション専門職大学の設置【評価 A】

2018 年 10 月、文部科学省に「びわこリハビリテーション専門職大学」の設置認可申請を行い、令和元年 9 月 6 日付で設置認可を受けました。併せて、2019 年 7 月、文部科学省に理学療法士学校及び作業療法士学校の指定申請を行い、2019 年 10 月 31 日付で理学療法士法及び作業療法士法第 11 条第 1 号、第 12 条第 1 号に定める学校として指定されました。

また、大学設置に伴い、施設設備や機器、図書の大規模な整備を行いました。

びわこリハビリテーション専門職大学の概要

学長	山川正信
設置学部	リハビリテーション学部
設置学科	理学療法学科（入学定員 80 名・収容定員 320 名）

作業療法学科（入学定員 40 名・収容定員 160 名）

修業年次 4 年（両学科共通）

学 位 理学療法学科 理学療法学士（専門職）
 作業療法学科 作業療法学士（専門職）

所在地 滋賀県東近江市北坂町 967 番地

施設設備や機器、図書の整備

区 分	2019 年度	備 考
施 設	548,928 千円	
図 書	3,938 千円	和書・洋書 456 冊、雑誌 2 種
教具・校具・備品	59,369 千円	105 点
合 計	612,235 千円	

備考・2018 年度執行済み 63,325 千円（施設）

・2020 年度執行予定 76,940 千円
 （図書 1,460 千円、教具・校具・備品 75,480 千円）

・2021 年度執行予定 1,419 千円（図書）

④藍野高等学校 衛生看護科 メディカルサイエンスコース設置【評価 B】

2020 年度より、藍野高等学校 衛生看護科内に四年制大学等の医療系学部・学科への進学コースを目指すメディカルサイエンスコースを設置しました。（2020 年 3 月 大阪府に教育課程の設置を届出）

また、従来からの准看護師養成課程を衛生看護コースとした。大阪府に 2019 年 11 月に入学定員を 20 名増（100 名→120 名）とする学則の変更認可申請を行い、2020 年度 3 月 26 日付で認可されました。

(3) 地域連携の推進

①茨木市との連携【評価 B】

茨木市と「福祉、医療、文化、教育、子育て、スポーツ、環境、産業及び協働によるまちづくり等のさまざまな分野において、積極的に連携を行い相互に協力することにより、それぞれの活動の充実を図るとともに、地域の発展に寄与することを目的」とした連携協定を締結しています。

本年度の取り組みは次のとおりです。

・「茨木市×藍野大学 連携講座」

茨木市立生涯学習センターにおいて、「茨木市×藍野大学連携講座」を開講し、参加者の骨格筋量、骨密度、糖化度、血管年齢などの身体測定やアンチエイジング講座など、様々な健康増進のサポートを行いました。ストレッチ方法の指導など、アシスタントとして参加する大学生にとっても、実践経験並びに社会経験を積む大変貴重な場となっています。



・茨木市内 5 大学と茨木市における連携共同研究事業の提案（2020 年度 事業）

藍野大学の採択

分 野：高齢者福祉、介護保険（介護予防、自立支援、重度化防止）

テーマ：通いの場への専門的見地からの支援

内 容：作業療法学科教員の監修のもとで、学生が施設で健康長寿を目的とした取り組み（認知症予防）を提供

・健康長寿講座の開催

藍野大学短期大学部では、茨木市の後援を受けて地域の方々の健康長寿への意識を高めること、また医療等に関する正しい知識を獲得していただくことを目的とした「健康長寿講座」を開催しました。2016 年度から続く本講座は、解剖生理学の基礎から認知症予防、基本の介護技術、栄養学、グリーフケアや生死など、幅広い分野から自分の健康について、また死についても見つめ直す内容となっています。

・茨木市が指定する福祉避難所及び災害時一時避難場所としての履行状況

本法人は茨木市内初の「福祉避難所及び災害時一時避難場所」として指定されています。これに伴い、2020 年 2 月に竣工した Medical Learning Commons（以下「M・L・C」という。）に地域の災害時に対応できる機能を構築しました。防災上有効な非常時の電源や飲料水の確保、また被災者用のベッドとして活用できるソファや車椅子、担架を備えており、地域住民の災害対応拠点としての役割を担います。



また、を M・L・C に茨木市の防災備蓄庫を併設し、災害時に備えています。

②高大連携協定【評価 B】

・びわこリハビリテーション専門職大学は 2020 年 1 月、学校法人ヴォーリズ学園 近江兄弟社高等学校と高大連携に関する協定書を締結しました。今後、「大学施設での模擬授業の実施」や「高等学校への出前授業」、「高等学校クラブ活動支援」などの教育交流・連携活動を行っていくことになります。

・藍野大学短期大学部（第二看護学科）では、2017 年度から高等学校における教育と大学教育との接続教育を目指して、地域の高等学校と連携協定を締結し、高大連携授業等を実施しています。高校生が看護高等教育に触れる機会を多数提供し、連携による接続を柔軟に捉え、「生徒一人ひとりの能力を向上」と「高大 6 年間を見据えた柔軟な高大接続」を目的に取り組んでいます。2019 年度、新たに大阪府立東淀川高等学校及び学校法人樟蔭学園 樟蔭高等学校と連携協定を締結しました。

③その他の地域貢献活動【評価 A】

・子育てサロン “だっこ”

藍野大学短期大学部専攻科（地域看護学専攻）では、子育てサロン “だっこ”を開催し、保健師資格を有する教員と看護師資格を有する学生が、お母さん方の不安を取り除くために、子育て情報の提供や日頃の子育てにおける悩みや疑問に答える活動を行いました。また、学生に赤ちゃんの世話を任せ、お母さんにリフレッシュをしてもらうなど回を重ねるごとに好評を博し、毎年人気となっています。



保健師資格を目指す専攻科（地域看護学専攻）の学生にとっては、保健師となつて行う乳幼児健診や母子相談の実際に近い経験ができる貴重な機会であり、赤ちゃんの身体計測を行うほか、健康指導

では計画から説明材料の制作まで、自分たちのアイデアの実践の場でもあり、人材の育成及び教育研究活動として役立っています。

- ・子育て支援講座

藍野大学短期大学部第二看護学科では、助産師資格を有する教員を中心に「子育て支援講座」を実施しました。本講座では、ベビーマッサージを親子のコミュニケーションツールとして活用し肌と肌の触れ合いからお母さんと赤ちゃんが共にリラックスでき、気持ちを通じ合える時間を過ごしていただいています。また、日ごろ子育てで感じる疑問や悩みに教員が専門家としてアドバイスを行うだけでなく、参加者同士の会話から解決のヒントを得たりする交流の場にもなっています。



④産学連携【評価 A】

- ・シャープ株式会社の「頭の健康管理サービス」の開発に貢献

シャープ株式会社による介護施設における高齢者の生活機能訓練に関わる一連の業務をサポートする介護施設支援ソリューション「頭の健康管理サービス」の提供が開始されました。

本サービスの「機能訓練」におけるアセスメント機能は、藍野大学作業療法学科長・酒井浩教授と森ノ宮医療大学・横井賀津志教授の共同研究成果により開発されました。



本サービスは、施設利用者の「アセスメント（興味・関心チェック）」から「訓練計画作成」、「日々のおすすめ訓練提示」、「訓練結果の記録・集計・見える化」まで支援する日本初のサービスで、介護施設スタッフの作業量を削減し、業務効率化に貢献します。

- ・多世代交流（クロスエイジ）型プロジェクト

高齢者住宅の運営実績を持つグッドタイムリビング株式会社と藍野大学作業療法学科の学生との協創で、高齢者の健やかな老いを支援する「多世代交流（クロスエイジ）型プロジェクト」を推進しました。グッドタイムリビングの介護ノウハウと認知症予防に関する数多くの研究実績を有する藍野大学の専門知識を掛け合わせたものです。



学生が提案するアクティビティプログラムを有料老人ホーム「グッドタイムリビング香里ヶ丘」の入居者向けに実施しました。専門知識を持った若者たち（学生）と入居者との交流は、入居者に新たな活動を促し、学生にとっても、学びの機会とプログラムの成果検証などの機会を得ることができています。

・滋賀レイクスターズとアカデミックパートナー契約を締結

本法人は、リハビリテーション専門職の活躍の場の拡大と次世代スポーツ産業で活躍する人材輩出に取り組むためびわこリハビリテーション専門職大学と B.LEAGUE 所属のプロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」とのアカデミックパートナー契約を締結しました。



ーアカデミックパートナーとはー

次世代のスポーツ産業で活躍する人材輩出を目的に各種研究・調査活動をはじめ、インターンシップ実習の受入れや教育プログラムの共同開発など、「スポーツ×教育」の新たな構築に滋賀レイクスターズと共に取り組む教育機関、またそのパートナーシップ。

・大手スポーツメーカー「ミズノ」との「臨床実習ユニフォーム」共同企画

本法人はミズノ株式会社と 2020 年 4 月以降に入学する学生・生徒向けの臨床実習ユニフォームを共同企画しました。



医療教育では、幅広い医療専門知識や一般教養の学びに加え、直接患者に接することで医療的な知識を深め、技術を高めるとともに、責任感や指導力、協調性など、医療に携わる者として不可欠な能力を学ぶ臨床実習があります。近年、臨床実習の重要性が増していることから、学校法人藍野大学各設置校でも臨床実習の充実を図っています。

学校法人藍野大学は、学生・生徒ひとり一人が身につけてきた知識や技術を臨床実習で最大限に発揮できるように、医療従事者が求める使いやすさや動きやすさ、快適性にこだわった臨床実習ユニフォーム製作を目指し、スポーツメーカーのミズノと共同企画することに決めました。

この臨床実習ユニフォームは、医療教育に携わる本法人教育陣の医療現場でのノウハウと、ミズノがもつスポーツノウハウから生まれた動きやすさを追求したウェア設計や、制菌性に優れ汗のニオイの元になるタンパク質を分解する機能性素材などを組み合わせて作られています。



本法人が設置する藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学（2020 年 4 月開学）、藍野大学短期大学部、藍野高等学校に 2020 年 4 月入学する学生・生徒を対象にこのユニフォームを導入します。

「Saluti et Solatio Aegrorum（病める人々を医やすばかりでなく慰めるために）」という教育理念をもつ藍野大学は、「より良いスポーツ品とスポーツ振興を通じて社会に貢献する」という経営理念を掲げるミズノと協業することで、社会貢献・地域貢献への取り組みを通して、地域から愛されるブランドを目指します。

(4) ファシリティ・マネジメント

①「Medical Learning Commons (M・L・C)」の建設【評価 A】

2020 年 2 月、学校法人藍野大学の創基 50 周年事業、また藍野大学医療保健学部の収容定員増に伴う就学環境の整備として、藍野大学に新学舎「Medical Learning Commons」（以下「M・L・C」という。）を竣工しました。

多職種理解を通して職業の専門性を知り、問題解決の方法について討議・学習する「シンメディカルⅠ～Ⅳ」をはじめとした授業を行い、その中でICTやIoTの活用によるアクティブ・ラーニングを展開します。（総額：1,497,722千円）



②藍野大学医療保健学部の実員増及び指定規則の改正に伴う既存校舎の改修【評価 A】

事務機能を M・L・C へ移転させ、改修スペースを確保し、藍野大学医療保健学部の実員増に伴う演習室・更衣室・教員研究室等の改修や指定規則改正に伴う作業療法学科の演習室等の改修を行いました。（総額：424,381千円）

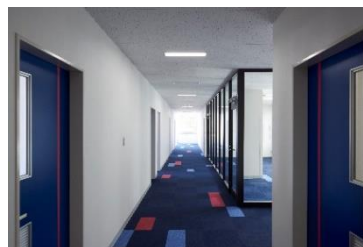
③藍野大学短期大学部茨木キャンパス校舎の耐震補強工事【評価 A】

藍野大学短期大学部茨木キャンパスの校舎 A 棟は、旧建築基準法により施工された建物であるため、学生の安全確保の観点から、計画どおりに新基準に対応させるための耐震補強工事に着手し完了させました。（総額：31,276千円）

④滋賀医療技術専門学校校舎の老朽化に伴う全面改修及び専門職大学設置に伴う増築・改修【評価 A】

過年度より進行していた老朽化に伴う漏水を中心に全面改修を行いました。

また専門職大学の設置に伴い、図書室の拡張や教員研究室の設置、社会的ニーズに合わせた三次元動作解析走行スペースの設置（増設）、改正指定規則に基づいた専門教室の改修などに着手し、就学環境を整えました。（総額：612,252 千円）



⑤高等学校の運動施設整備【評価 B】

2018年に近畿地方を襲った台風12号により大きな被害を受けた藍野高等学校のスポーツ施設を再構築するために、2020年4月下旬の完成を目指し、テニスコート等の多目的スポーツ施設の整備に着手しました。（総額 72,000 千円）



(5) 広報戦略

①藍野大学の知名度向上【評価 B】

藍野大学知名度の向上のため、主要施設等への看板設置、テレビ CM、メディアへのプレスリリースを行いました。

また、リハビリテーション系の学科において、将来を見据えた職業の新たな活躍の場を開拓するための取り組みを広報・広告の一つとして位置づけ、プロ野球球団の「オリックス・バファローズ」並びに地元の女子サッカーチーム「スペランツァ大阪高槻」との関係性を構築しました。

オリックス・バファローズとは、その運営を行う「オリックス野球クラブ株式会社」とパートナーシップを締結しています。教員と学生が球場に行き、スタジアムでの選手・スタッフの動きや技術の見学、専属の管理栄養士やアスレティックトレーナーからプロスポーツ選手の食事方法や栄養管理、リハビリやトレーニング方法、そしてプロ野球選手への理学療法士としての関わり方について学ぶ機会を得ることができました。さらに、学内でオリックス・バファローズの管理栄養士、トレーナーによる特別講義を設けるなど、専門知識の習得と就業力を育成する様々なプログラムを推進しました。



スペランツァ大阪高槻とは、作業療学科長・酒井浩教授の研究チームがスペランツァ大阪高槻との協創で脳・認知機能研究をサッカースキルの向上に活かすプロジェクトに取り組みました。これは

脳の働きや認知機能といった作業療法の観点からアプローチするもので、一人ひとりの選手の脳活動などを測定し、脳・認知特性を分析することにより、サッカースキルの向上とチーム全体の強化へとつなげる、これまでにない取り組みです。

このプロジェクトにはスポーツに関心のある学生も参画し、学習意欲の向上はもちろんスポーツ業界へのキャリア展開も期待されています。

結果、藍野大学医療保健学部の志願者数は 2019 年度の 1,547 名に対し、2020 年度は 1,789 名となり増加しました。

②びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上【評価 C】

びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上のため、高等学校・予備校への訪問をはじめ、テレビ CM、情報番組への出演、メディアへのプレスリリース、新聞・Web 媒体への広告掲出、駅看板の掲出、また地元の B.LEAGUE 所属のバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」とのアカデミック・パートナーの契約締結など積極的に実施しました。



2020 年度 広報活動

学校訪問	滋賀、京都、和歌山、福井、岐阜の高校及び滋賀・京都の予備校訪問
イベント	オープンキャンパス、開学報告会（大津プリンスホテル）
テレビ	BBC 放送 CM 及び情報番組出演、KBS 京都 CM 及び情報番組出演
プレスリリース	記者クラブ、大学プレスセンター
新聞	読売新聞、毎日新聞、京都新聞、産経新聞、滋賀報知新聞
Web	リクルート進学サイト、マイナビ進学サイト 読売新聞大学セクション、リスティング広告
駅	デジタルサイネージ（地下鉄京都駅「コトチカビジョン」） JR 駅看板（彦根・能登川・近江八幡）、JR 中づくり広告 駅構内ポスター（守山・草津・南草津・大垣・敦賀）
ラジオ	FM 滋賀 CM
コンビニ	ファミリーマート店内レジ横液晶 POP 及び店内放送
フリーペーパー	チェキポンへの掲出（コンビニ、TUTAYA 等備付冊子）

しかし、志願者数についてはリハビリテーション学科で 74 名となり、定員を大幅に下回る結果でした。

その要因としては、専門職大学の設置認可が、高校生の進路を決定する三者面談に間に合わなかったことや、不便な立地条件を補う手立てや 18 歳人口を中心とする志望者のニーズへの対応が不十分であったものと分析しております。

この結果を真摯に受け止め、次年度は募集計画を整えた上で定員充足に取り組めます。

(6) その他実施した重要な事業

①訪問看護ステーション開設に伴う寄附行為変更認可申請【評価 A】

藍野大学短期大学部の附置機関であるメディカル・ヘルスイノベーション研究所内に、「あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション」（藍野大学短期大学部が行う教育研究事業に付随する事業を開設することに伴う寄附行為変更認可申請を文部科学省に行い、2020 年 3 月 17 日付で認可を受けました。これにより、あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーションが 2020 年 4 月 1 日に開設されます。

②日本私立大学協会への入会【評価 A】

大学相互の提携と協力によって私立大学の振興を図り、その使命達成に寄与し、学術及び教育の進歩発展に貢献するため、日本私立大学協会への入会手続きを行いました。（入会予定：2020 年 4 月）

③「統合報告書 2019 協創レポート」の発行【評価 A】

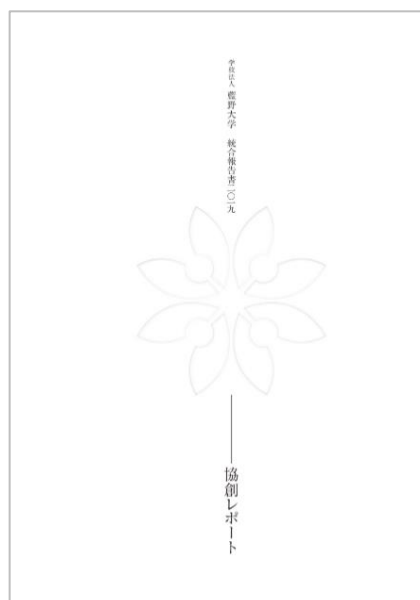
学校法人藍野大学創基 50 周年記念事業の一環として、本法人のこれまでの教育・研究活動による知的資産と財務データの両方の観点から本法人独自の強みや経営ビジョン、今後の事業展開とその見通しについて纏め上げた「統合報告書 2019 協創レポート」を発行しました。

統合報告書では、本法人の歩みやビジョン、財務情報とともに、「協創」というテーマで、地域医療や産業界との協創や協創研究開発など、様々な視点から協創イノベーションによる価値創造に向けた取り組みについて紹介しています。

本報告書の発行を通して、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深化させていくとともに、さらなる本法人の価値向上に向けた取り組みを進めて参ります。

主な内容は以下のとおりです。

- ・ 藍野グループの協創
- ・ 学校法人藍野大学の価値創造
- ・ 学校法人藍野大学の協創
- ・ 理事長メッセージ
- ・ Next50
- ・ 協創研究開発
- ・ 産学協創
- ・ 地域協創
- ・ 学校法人藍野大学のガバナンス
- ・ 人材育成
- ・ 財務情報
- ・ 11 ヶ年財務サマリー



(7) 経営基盤の安定確保と学生募集活動状況について【評価 B】

本法人では、財政の健全性を確保することを目的に日本私立学校振興・共済事業団の示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）」の「A3」（＝正常状態）を保持するための中期財務計画及び各年度の予算を策定しています。予算の効果的な執行を目的に、予算策定時点だけでなく執行の際にも再度必要性や価格の妥当性を精査し、執行コントロールを行っています。

本年度は、将来構想計画“Aino Vision2025”に基づき「びわこリハビリテーション専門職大学」の設置認可申請（2020 年 4 月開学予定）を行い、専門職大学としてふさわしい施設設備の整備に着手しました。さらに本法人の更なる研究成果や教育効果を高めるために M・L・C の建設、滋賀医療技術専門学校、藍野大学の改修工事、藍野大学短期大学部の耐震工事等、大型の設備投資を実施しました。これらの工事は自己資金のほか、日本私立学校振興・共済事業団等からの融資を財源に実施しています。

今後は、びわこリハビリテーション専門職大学の設置認可（2019 年 9 月 6 日付）、藍野大学医療保健

学部看護学部（入学定員 90 名から 115 名へ）、理学療法学科（80 名から 100 名へ）の収容定員の増加に係る学則変更認可（2019 年 7 月 2 日付）、藍野高等学校衛生看護科（入学定員 100 名から 120 名へ）の収容定員の増加に係る学則変更認可（2020 年 3 月 26 日付）によって、学校法人の主たる収入である学生生徒納付金収入の増収を見込んでいます。

今後も、引き続き学生・生徒の適切な確保に努めるとともに、永続的な教育活動継続のため財政基盤を安定・充実させるべく取り組んでまいります。

さて、本法人の経営基盤の根幹である 2020 年度入学生の学生生徒募集活動状況については、学校法人全体の志願者数が 2,497 名となり、昨年比 294 名の増加となりました。

2020 年度 学生生徒募集活動状況 志願者数

2020 年 3 月 31 日現在

学校種・学部	学 科	入学定員	志願者数		増減
			2020 年度	2019 年度	
藍野大学大学院	看護学研究科	6	8	4	4
藍野大学 医療保健学部	看護学科	115 (90)	1,180	875	305
	理学療法学科	100 (80)	406	472	△66
	作業療法学科	40	95	74	21
	臨床工学科	40	113	127	△14
	計	295 (250)	1,794	1,548	246
びわこリハビリテーション 専門職大学 リハビリテーション学部	理学療法学科	80 (-)	56	(-)	56
	作業療法学科	40 (-)	18	(-)	18
	計	120 (-)	74	(-)	74
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	100	95	109	△14
	第二看護学科	80	175	187	△12
	計	180	270	296	△26
	専攻科	40	228	228	0
藍野高等学校	衛生看護科	120 (100)	123	127	△4
合 計		761 (576)	2,497	2,203	294

※カッコ内は 2019 年度の入学定員を表しています。

2020 年度 学生生徒募集活動状況 入学手続者数（辞退除く）

2020 年 3 月 31 日現在

学校種・学部	学 科	入学定員	入学手続者数		増 減
			2020 年度	2019 年度	
藍野大学大学院	看護学研究科	6	7	4	3
藍野大学 医療保健学部	看護学科	115 (90)	115	95	20
	理学療法学科	100 (80)	106	89	17
	作業療法学科	40	48	43	5
	臨床工学科	40	37	46	△9
	計	295 (250)	306	273	33

びわこリハビリテーション 専門職大学 リハビリテーション学部	理学療法学科	80 (-)	44	(-)	44
	作業療法学科	40 (-)	14	(-)	14
	計	120 (-)	58	(-)	58
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	100	92	98	△6
	第二看護学科	80	96	89	7
	計	180	188	187	1
	専攻科	40	40	40	0
藍野高等学校	衛生看護科	120 (100)	102	109	△7
合 計		761 (576)	701	613	88

※カッコ内は 2019 年度の入学定員を表しています。

(9) Faculty Development (FD)・Staff Development (SD) 活動について【評価 A】

2019 年度に行った FD・SD 活動は次のとおりです。なお、本法人は 2016 年 4 月 1 日施行の「学校法人藍野大学 改正職員研修制度」に基づき、研修体系を次のとおり分類しています。

学校法人藍野大学 改正職員研修制度 研修体系及び 2019 年度実施研修

①職場内研修

②職場外研修

ア．職掌・職能資格別研修

イ．職位別研修

(ア) 管理職位研修

(イ) 監督職位研修

(ウ) 専門職位研修

ウ．目的別研修

(ア) 全体研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
【藍野大学】 FD・SD 研修	8 月 30 日 13:00～16:00	藍野大学中央 図書館 1 階合同教室	教育職員	藍野大学における 教学マネジメント と学修成果の可視 化	斎藤有吾（新潟大学准教授 経営戦略本部教育戦略統括室） 杉山芳生（藍野大学教学 IR 室非常勤）	42
【藍野大学短期大学部】 FD・SD 研修	8 月 30 日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス C201 教室	教職員	①アクティブ・ラーニングの実践 ②学生の気持ちに寄り添った教育～寄り添うことは意外と難しい～ ③学生募集について	①飯田英晴（藍野大学短期大学部 副学長） ②足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科学科長） ③佐々木恵雲（藍野大学短期大学部学長）	18

【藍野大学】 データサイエンスに関する FD 研修会	9 月 26 日 10:00～12:00	藍野大学 A103 講義室	教育職員	「データサイエンスー統計改革が始まったー」	斎藤有吾（新潟大学准教授 経営戦略本部教育戦略統括室）	21
【藍野大学】 FD・SD 研修	10 月 28 日 14:30～17:15	藍野大学中央 図書館 1 階合同教室	専任教職員	「多様な学習成果の評価方法ー目に見えないものを妥当に評価するためにー」	斎藤有吾（新潟大学准教授 経営戦略本部教育戦略統括室） 大山牧子（大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部）	35
【藍野大学】 データサイエンスに関する FD 研修会	12 月 20 日 14:40～16:40	藍野大学中央 図書館 1 階合同教室	教育職員	「データサイエンスに関する FD 研修会」	斎藤有吾（新潟大学准教授 経営戦略本部教育戦略統括室）	50
【藍野大学短期大学部】FD 研修	1 月 8 日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス 3 階会議室	教育職員	学修成果を巡る諸問題	飯田英晴（藍野大学短期大学部 副学長）	19
【藍野大学短期大学部】FD・SD 研修	2 月 4 日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス C201 教室	教職員	“SNS は人を感情的にさせる？～学生とのやりとりする際に心がけること～”	足利学（藍野大学短期大学部第一看護学科学科長）	15

（イ）実務研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
【藍野大学短期大学部】国家試験対策について	4 月 22 日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス C201 教室	教職員	国家試験対策	平山朋子（藍野大学医療保健学部理学療法学科准教授） 青山宏樹（藍野大学医療保健学部理学療法学科講師）	15
【藍野大学短期大学部】アンガーマネジメントについて	7 月 16 日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス C301 教室	教職員	アンガーマネジメント	池田真茶（日本アンガーマネジメント協会 シニアファシリテーター）	26
【藍野大学】コンプライアンス教育研修	9 月 3 日 14:40～17:00	藍野大学 A 302 講義室	教育職員	コンプライアンス教育	波多野浩道（藍野大学医療保健学部学部長）	75
【藍野大学】研究倫理に関する研修会	9 月 18 日 15:00～17:00	藍野大学 A302 講義室	教育職員	「藍野大学における研究倫理審査の申請とその申請書作成の基本」 「私が日野原重明先生から学んだこと」	水谷陽一（藍野大学医療保健学部臨床工学科教授） 吉田修（天理医療大学学長）	49
【藍野大学】科研費採択に向けた効果的な戦略について	9 月 18 日 15:00～17:00	藍野大学 A102 講義室	教育職員	科学研究費助成事業採択に向けた効果的な戦略について	菅田勝也（藍野大学学長） 田浦晶子（藍野大学医療保健学部臨床工学科教授） 林 拓世（藍野大学医療保健学部臨床工学科講師）	49

					山田久夫(藍野大学医療保健学部特任教授)	
【藍野大学短期大学部】FD・SD 研修 研究倫理委員会共催	9月26日 13:00～14:15	藍野大学短期大学部茨木キャンパス 3階会議室 青葉丘キャンパス 3階会議室	教職員	コンプライアンス教育 科学研究費公募について	飯田英晴(藍野大学短期大学部副学長) 藍野大学短期大学部事務部総務課	27
【藍野大学短期大学部】FD 研修 研究倫理委員会共催	10月9日 12:20～13:00	藍野大学短期大学部青葉丘キャンパス 3階会議室	教職員	コンプライアンス教育 科学研究費公募について	飯田英晴(藍野大学短期大学部副学長) 藍野大学短期大学部事務部総務課	11
【藍野大学短期大学部】FD・SD 研修	12月19日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス C201 教室	教職員	研究論文発表	島哲也(藍野大学短期大学部第一看護学科講師) 白石みどり(藍野大学短期大学部第一看護学科講師) 藤岡智子(藍野大学短期大学部第一看護学科助教)	12
「2019 年度大学行政管理学会 定期総会・研究集会」研修報告会	2月7日 10:00～12:00	アイノピアビルディング 3階法人事務局会議室 1	事務職員	「2019 年度大学行政管理学会 定期総会・研究集会」に参加しての学びの報告と本学での取り組み提案	なし	30
SD 研修	3月18日 3月19日 10:30～11:30	アイノピアビルディング 2階講義室	事務職員	職場におけるストレスコントロール研修	足利学(藍野大学短期大学部第一看護学科学科長)	15
【藍野大学短期大学部】FD・SD 研修	3月23日	藍野大学短期大学部茨木キャンパス A101 教室	教職員	“この1年間の私の教育を振り返って、成功例と失敗例”	藍野大学短期大学部教育職員	9

(ウ) 国内研修

(エ) 海外研修

(オ) 新任職員研修・2年目職員研修・3年目職員研修

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
新入職事務職員 SD 研修	4月2日 9:30～11:00	アイノピアビルディング 2F 講義室	2019 年度新入職事務職員	「学校法人と私立学校」	山本嘉人(学校法人藍野大学常務理事)	6
新入職事務職員 SD 研修	4月1日 4月19日	学校法人藍野大学各施設	2019 年度新入職事務職員	新入事務職員研修	学校法人藍野大学教職員	6
2019 年度私立大学入職 10 年以内新人職員対象大学職員の新人研修	6月18日 12:00～18:30	大阪工業大学梅田キャンパス	入職 10 年以内新入事務職員	1.大学を取り巻く社会と職員としての心構え 2.大学の基礎知識	小島憲明(千葉敬愛学園常任監事)	7

- (カ) 次世代リーダーズ育成研修
- ③外部団体研修
- ④自己啓発研修

Ⅲ. 財務の概要

1. 学校法人会計について

学校法人会計の特徴

補助金の交付を受ける学校法人は、文部科学大臣の定める基準「学校法人会計基準」により会計処理を行い、作成した計算書類を公認会計士又は監査法人の監査報告書を添付した上で、所轄庁へ提出しなければならないと定められています。

学校法人の収入の多くは学生生徒からの納付金が占めており、学生数が確定するとその年度の収入のほとんどが決定し、年度途中で収入を増やすことが難しいという収入の固定性、補助金や寄付金等資金の源泉に公共性があること等からその資金を効果的かつ適切に使用するためにあらかじめ予算を立て、それに従って執行することが求められます。言い換えれば予算とは、学校法人の教育研究活動の具体的計画を学校会計基準に基づき科目と金額で表示したものと言えます。そのため、決算は企業とは異なり損益ではなく、会計期間の収支結果から計画（予算）のとおり事業が遂行されたかどうか、また財政状況等から経営状態を見ることに視点がおかれています。また、財務分析においては長期的にみて財政が健全に維持されているかどうか、教育研究施設設備が適切に充実されているか等という観点で財務資料を分析し、必要に応じ改善していきます。

学校法人の計算書類

学校法人が作成しなければならない計算書類は、資金収支計算書及びこれに附属する内訳表（資金収支内訳表、人件費支出内訳表、活動区分資金収支計算書）並びに事業活動収支計算書及びこれに附属する内訳表（事業活動収支内訳表）並びに貸借対照表及びこれに附属明細表（固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細表）となっています。

貸借対照表

当該会計年度末(決算日)の資産、負債、及び純資産の内容並びに在り高から、財政状態を明らかにすることを目的としています。基本金は、学校法人の諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するため、施設設備等の必要な資産の維持・充実に必要な必要な資産相当額です。ただし、現預金の残高と直接的な関係はなく、基本金と同額の資金が実際に保有されているというものではありません。

資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と、当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにする事を目的としています。

事業活動収支計算書（企業会計でいう損益計算書に相当）

当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態、長

期的な収支の均衡状況を明らかにする事を目的としています。資金収支計算書と多くの項目は同じとなりますが、負債性のある収支(借入金や預り金)は含まず、資金の収支を伴わない収支(現物寄付や減価償却費等)が記載されるという特徴があります。基本金組入額は学校法人が教育活動を行っていくために必要な校地・校舎・機器備品・図書等を永続的に保持するため、これらの資産を取得した年度にその取得額に相当する額を第一号基本金に組み入れることとなっています。そのため、当年度に取得した固定資産に係る額を計上しています。ただし、借入により取得した資産については、借入金返済額のみ基本金として組み入れることとなっています。基本金取崩額は、経営の合理化により固定資産を有する必要がなくなった場合等、学校法人会計基準 31 条の要件に該当する場合に基準に定められた額を取り崩すことができるとされています。

2. 決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

貸 借 対 照 表 (単位：千円)

資産の部			
科 目	2019 年度末	2018 年度末	増減
固定資産	14,068,843	11,669,692	2,399,151
有形固定資産	13,833,416	11,636,708	2,196,707
特定資産	200,000	0	200,000
その他の固定資産	35,426	32,983	2,443
流動資産	3,564,855	5,068,516	△1,503,661
資産の部 合計	17,633,698	16,738,208	895,489

負債の部			
科 目	2019 年度末	2018 年度末	増減
固定負債	2,909,812	2,425,530	484,282
流動負債	3,018,400	2,570,011	448,388
負債の部 合計	5,928,212	4,995,542	932,670

純資産の部			
科 目	2019 年度末	2018 年度末	増減
基本金	16,014,947	16,245,503	△230,555
繰越収支差額	△4,309,462	△4,502,836	193,374
純資産の部 合計	11,705,485	11,742,666	△37,180
負債及び純資産の部 合計	17,633,698	16,738,208	895,489

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

※「増減」欄は、「2019 年度末」欄から「2018 年度末」欄の金額を控除した金額となっています。

(2) 収支計算書の状況

ア. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		学生生徒等納付金	2,856,166	2,904,022	△47,856
		手数料	64,765	61,101	3,663
		寄付金	2,700	10,264	△7,564
		経常費等補助金	385,677	409,422	△23,745
		付随事業収入	85,850	81,605	4,244
		雑収入	99,254	104,364	△5,110
		教育活動収入計	3,494,412	3,570,780	△76,368
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		人件費	1,935,529	1,888,911	46,617
		教育研究経費	1,113,372	1,036,149	77,223
		管理経費	616,137	566,211	△49,925
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	3,665,039	3,491,272	173,766
	教育活動収支差額		△170,627	79,507	△250,134
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		受取利息・配当金	30	52	△22
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	30	52	△22
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		借入金等利息	11,319	11,466	△147
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	11,319	11,466	△147
	教育活動外収支差額		△11,289	△11,413	124
	経常収支差額		△181,916	68,093	△250,010
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	15,638	15,638	0
		特別収入計	15,638	15,638	0
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
		資産処分差額	0	120,912	△120,912
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	120,912	△120,912
	特別収支差額		15,638	△105,274	120,912

予備費	(8,880) △7,778		△7,778
基本金組入前当年度収支差額	△158,499	△37,180	△121,318
基本金組入額合計	△1,486,849	△200,000	△1,286,849
当年度収支差額	△1,645,348	△237,180	△1,408,167
前年度繰越収支差額	△4,502,836	△4,502,836	0
基本金取崩額	0	430,555	△430,555
翌年度繰越収支差額	△6,148,185	△4,309,462	△1,838,723

(参考)	事業活動収入計	3,510,080	3,586,470	△76,390
	事業活動支出計	3,668,579	3,623,651	44,927

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

※「差異」欄は、「予算」欄から「決算」欄の金額を控除した金額となっています。

イ. 資金収支計算書

資 金 収 支 計 算 書

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 (△) 異	科 目	予 算	決 算	差 (△) 異
学生生徒等納付金収入	2,856,166	2,904,022	△47,856	人件費支出	1,935,529	1,887,411	48,117
手数料収入	64,765	61,101	3,663	教育研究経費支出	789,584	813,617	△24,032
寄付金収入	2,700	6,063	△3,363	管理経費支出	582,543	524,364	58,178
補助金収入	401,315	425,060	△23,745	借入金等利息支出	11,319	11,466	△147
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	183,325	183,325	0
付随事業・収益事業収入	85,850	81,605	4,244	施設関係支出	2,178,734	2,076,116	102,617
受取利息・配当金収入	30	52	△22	設備関係支出	207,572	508,744	△301,172
雑収入	99,254	102,873	△3,619	資産運用支出	0	200,000	△200,000
借入金等収入	348,000	348,000	0	その他の支出	98,876	109,326	△10,450
前受金収入	2,395,939	2,260,035	135,903	予備費	(18,898) △17,797		△17,797
その他の収入	23,500	49,503	△26,003	資金支出調整勘定	△374,946	△820,998	446,052
資金収入調整勘定	△2,255,301	△2,265,155	9,854	翌年度繰越支払資金	3,455,235	3,507,546	△52,310
前年度繰越支払資金	5,027,758	5,027,758		—	—	—	—
収入の部合計	9,049,976	9,000,919	49,056	支出の部合計	9,049,976	9,000,919	49,056

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

ウ. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を活動区分別に並べ替えた計算書類です。

活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

	科 目	金 額		科 目	金 額
教育活動による資金収支	学生生徒等納付金収入	2,904,022	その他の活動による資金収支	借入金等収入	348,000
	手数料収入	61,101		貸付金回収収入	2,125
	特別寄付金収入	3,000		預り金受入収入	37,407
	一般寄付金収入	3,063		立替金回収収入	40
	経常費等補助金収入	409,422		仮払金回収収入	200
	付随事業収入	81,605		仮受金受入収入	212
	雑収入	102,873		保証金回収収入	500
	教育活動資金収入計	3,565,087		小計	388,484
	人件費支出	1,887,411		受取利息・配当金収入	52
	教育研究経費支出	813,617		その他の活動資金収入計	388,536
	管理経費支出	524,364		借入金等返済支出	183,325
	教育活動資金支出計	3,225,393		預り金支払支出	15,652
	差引	339,693		仮受金支払支出	20

施設整備等活動による資金収支	調整勘定等	359,085	小計	小計	198,997
	教育活動資金収支差額	698,779		借入金等利息支出	11,466
	科 目	金 額		その他の活動資金支出計	210,463
	施設設備寄付金収入	0		差引	178,073
	施設設備補助金収入	15,638		調整勘定等	0
	施設設備売却収入	0		その他の活動資金収支差額	178,073
	施設整備等活動資金収入計	15,638	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△1,520,211
	施設関係支出	2,076,116	前年度繰越支払資金		5,027,758
	設備関係支出	508,744	翌年度繰越支払資金		3,507,546
	第 2 号基本金引当特定資産繰入支出	200,000			
	施設整備等活動資金支出計	2,784,860			
	差引	△2,769,222			
	調整勘定等	372,158			
	施設設備等活動資金収支差額	△2,397,064			
小計（教育活動資金収支差額＋施設設備等活動資金収支差額）		△1,698,284			

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

3. 経年比較

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

年 度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
固定資産	11,615,627	11,562,801	11,329,472	11,669,692	14,068,843
流動資産	2,432,673	2,903,977	3,787,979	5,068,516	3,564,855
資産の部合計	14,048,301	14,466,779	15,117,451	16,738,208	17,633,698
固定負債	459,452	534,625	1,035,300	2,425,530	2,909,812
流動負債	2,772,153	2,768,091	2,660,779	2,570,011	3,018,400
負債の部合計	3,231,606	3,302,717	3,696,079	4,995,542	5,928,212
基本金	15,564,928	15,936,796	16,249,214	16,245,503	16,014,947
繰越収支差額	△4,748,233	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462
純資産の部合計	10,816,694	11,164,062	11,421,371	11,742,666	11,705,485
負債及び純資産の部合計	14,048,301	14,466,779	15,117,451	16,738,208	17,633,698

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

(2) 収支計算書

ア. 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
学生生徒等納付金収入	3,006,328	3,088,658	3,092,851	3,010,921	2,904,022
手数料収入	67,377	61,757	58,616	56,760	61,101
寄付金収入	2,493	3,377	5,578	2,565	6,063
補助金収入	316,616	339,157	376,986	422,620	425,060
資産売却収入	0	25,708	6,595	0	0
付随事業・収益事業収入	91,753	97,594	84,345	86,263	81,605
受取利息・配当金収入	2,385	1,829	2,456	78	52
雑収入	72,073	77,278	77,997	118,145	102,873
借入金等収入	0	300,000	700,000	1,552,000	348,000
前受金収入	2,382,189	2,430,108	2,352,094	2,240,868	2,260,035
その他の収入	41,081	54,707	8,076	35,901	49,503
資金収入調整勘定	△2,449,589	△2,387,440	△2,440,041	△2,359,252	△2,265,155
前年度繰越支払資金	2,632,986	2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758
収入の部合計	6,225,696	6,496,162	7,195,599	8,911,070	9,000,919
支出の部	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
人件費支出	1,925,655	1,933,463	1,922,451	1,857,632	1,887,411
教育研究経費支出	632,752	651,157	696,468	691,063	813,617
管理経費支出	417,676	386,077	478,464	464,633	524,364
借入金等利息支出	23,997	15,988	10,299	7,285	11,466
借入金等返済支出	274,930	240,000	226,000	197,875	183,325
施設関係支出	407,636	259,681	25,534	595,851	2,076,116
設備関係支出	90,365	84,293	62,476	99,686	508,744
資産運用支出	0	0	20,000	0	200,000
その他の支出	158,436	128,091	98,367	83,535	109,326
資金支出調整勘定	△109,181	△72,634	△88,660	△114,251	△820,998
翌年度繰越支払資金	2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546
支出の部合計	6,225,696	6,496,162	7,195,599	8,911,070	9,000,919

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

イ．活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科 目		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	3,616,642	3,667,824	3,696,374	3,697,276	3,565,087
	教育活動資金支出計	2,976,085	2,970,698	3,097,384	3,013,330	3,225,393
	差引	640,557	697,125	598,990	683,946	339,693
	調整勘定等	△ 123,861	18,775	△ 75,587	△ 99,143	359,085
	教育活動資金収支差額	516,696	715,901	523,402	584,802	698,779
施設設備等活動による資金収支						
	施設整備等活動資金収入計	0	25,708	1,051	0	15,638
	施設整備等活動資金支出計	498,001	343,974	88,010	695,538	2,784,860
	差引	△ 498,001	△ 318,266	△ 86,959	△ 695,538	△ 2,769,222
	調整勘定等	43,617	△ 14,858	△ 226	27,560	372,158
	施設設備等活動資金収支差額	△ 454,384	△ 333,124	△ 87,185	△ 667,977	△ 2,397,064
小計（教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額）		62,311	382,777	436,217	△ 83,174	△ 1,698,284
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	8,866	345,857	709,038	1,576,335	388,536
	その他の活動資金支出計	300,737	262,016	271,102	209,600	210,463
	差引	△ 291,871	83,841	437,936	1,366,734	178,073
	調整勘定等	0	0	0	0	0
	その他の活動資金収支差額	△ 291,871	83,841	437,936	1,366,734	178,073
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 229,560	466,618	874,153	1,283,560	△ 1,520,211
前年度繰越支払資金		2,632,986	2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758
翌年度繰越支払資金		2,403,426	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

ウ．事業活動収支計算書

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		学生生徒等納付金	3,066,328	3,088,658	3,092,851	3,010,921	2,904,022
		手数料	67,377	61,757	58,616	56,760	61,101
		寄付金	2,493	3,377	5,578	2,565	10,264
		経常費等補助金	316,616	339,157	376,986	422,620	409,422
		付随事業収入	91,753	97,594	84,345	86,263	81,605
		雑収入	77,373	79,676	79,792	119,820	104,364
		教育活動収入計	3,621,942	3,670,222	3,698,169	3,698,951	3,570,780

教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		人件費	1,925,655	1,933,463	1,922,451	1,857,632	1,888,911
		教育研究経費	919,782	936,174	987,201	983,525	1,036,149
		管理経費	457,599	437,045	522,483	511,350	566,211
		徴収不能額等	36,901	2,185	800	0	0
		教育活動支出計	3,432,936	3,308,867	3,432,936	3,352,508	3,491,272
教育活動収支差額		282,003	361,354	265,233	346,442	79,507	

教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		受取利息・配当金	2,385	1,829	2,456	78	52
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	2,385	1,829	2,456	78	52
		科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	事業活動支出の部	借入金等利息	23,997	15,988	10,299	7,285	11,466
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	23,997	15,988	10,299	7,285	11,466
		教育活動外収支差額		△21,611	△14,159	△7,843	△7,207
経常収支差額		260,391	347,194	257,389	339,235	68,093	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		資産売却差額	1,026	172	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0	0	15,638
		特別収入計	1,026	172	0	0	15,638
	事業活動支出の部	科 目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		資産処分差額	15,683	0	80	17,940	120,912
		その他の特別支出	33,555	0	0	0	0
		特別支出計	49,238	0	80	17,940	120,912
	特別収支差額		△48,212	172	△80	△17,940	△105,274
予備費							
基本金組入前当年度収支差額		212,179	347,367	257,309	321,294	△37,180	
基本金組入額合計		△743,217	△406,867	△312,418	0	△200,000	
当年度収支差額		△531,037	△59,500	△55,108	321,294	△237,180	
前年度繰越収支差額		△4,217,195	△4,748,233	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	
基本金取崩額		0	35,000	0	3,711	430,555	
翌年度繰越収支差額		△4,748,233	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	

(参考)

事業活動収入計	3,625,354	3,672,223	3,700,625	3,699,029	3,586,470
事業活動支出計	3,413,175	3,324,856	3,443,316	3,377,734	3,623,651

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

4. 主な財務比率比較

比率名	算式	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	全国 平均
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	5.9%	9.5%	7.0%	8.7%	－1.0%	4.6%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組入額}}$	118.4%	101.8%	101.6%	91.3%	107.0%	107.0%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	84.6%	84.1%	83.6%	81.4%	81.3%	74.8%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.1%	52.7%	51.9%	50.2%	52.9%	53.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.4%	25.5%	26.7%	26.6%	29.0%	33.4%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	12.6%	11.9%	14.1%	13.8%	15.9%	8.8%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	87.8%	104.9%	142.4%	197.2%	118.1%	246.6%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	29.9%	29.6%	32.4%	42.5%	50.6%	13.9%
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債＋純資産}}$	77.0%	77.2%	75.6%	70.2%	66.4%	87.8%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	94.2%	93.4%	94.8%	95.4%	85.0%	97.3%
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	14.3%	19.5%	14.2%	15.8%	19.6%	14.6%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	7.2%	9.5%	7.0%	9.2%	1.9%	4.5%

※1 小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。

※2 全国平均は令和元年度版「今日の私学財政」における「平成30年度財務比率比較表（医歯系大学法人を除く）」による。

※3 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

5. その他

(1) 有価証券の状況

(単位：千円)

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目	摘要
株式	(株) 藍野大学事業部	400 口	20,000	—	有価証券	※
計		400 口	20,000			

※非上場株式であり、市場価額はありません。

(2) 借入金の状況

2020年3月31日における借入金の残高は下記のとおりです。

(単位：千円)

借入先	借入残高	利率	返済期限	担保等
日本私立学校振興・ 共済事業団	1,900,000	0.01%	2026年3月17日	土地・建物
		0.50%	2038年9月15日	
		0.50%	2039年9月15日	

りそな銀行	775,000	0.38909% 0.31909%	2022 年 3 月 31 日 2030 年 3 月 29 日	土地・建物
関西みらい銀行	75,000	0.800%	2022 年 3 月 31 日	土地・建物
合 計	2,750,000			

(3) 学校債の状況

本法人は、学校債の発行はしておりません。該当事項はありません。

(4) 寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第 26 条の 28 の 2 第 1 項第 2 号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2020 年 3 月末日現在における寄付金募集状況は次のとおりです。

2019 年度 寄付金募集状況

(単位：千円)

対 象	種 類	件 数	金 額
4 月～3 月	一般寄付金収入	22 件	3,063

(5) 補助金の状況

2019 年度における補助金交付額は 425,060 千円となりました。内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	197,888
私立学校等施設整備費補助金	短期大学部	15,638
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	138,917
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	71,340
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校他	1,276
合 計		425,060

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

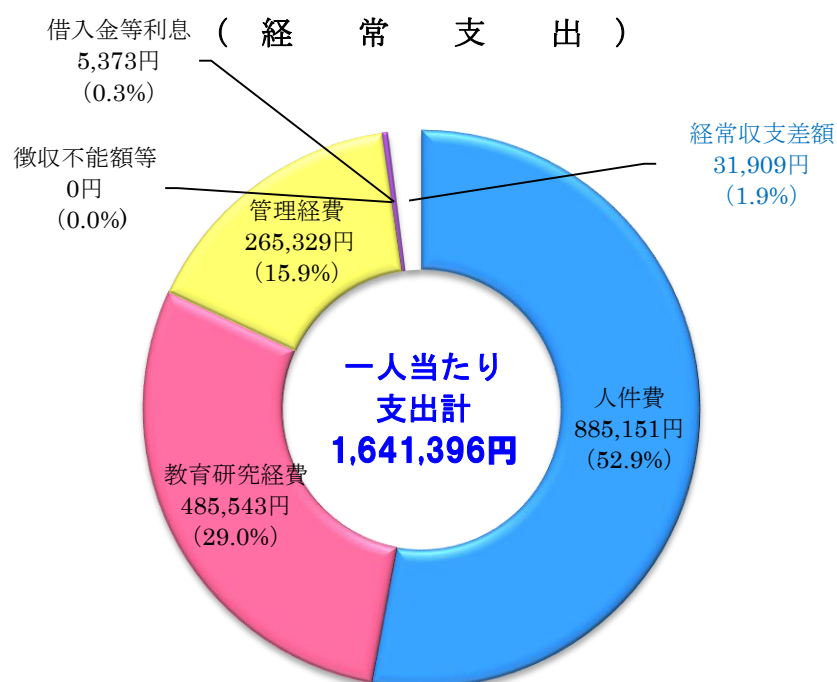
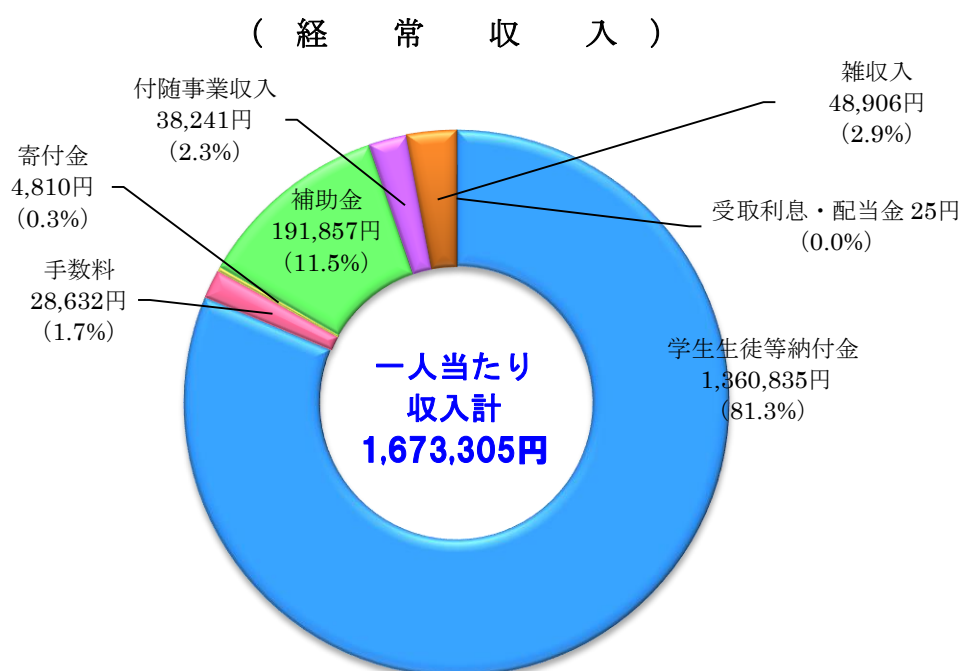
(6) 収益事業の状況

該当事項はありません。

(7) 学校法人間取引の状況

該当事項はありません。

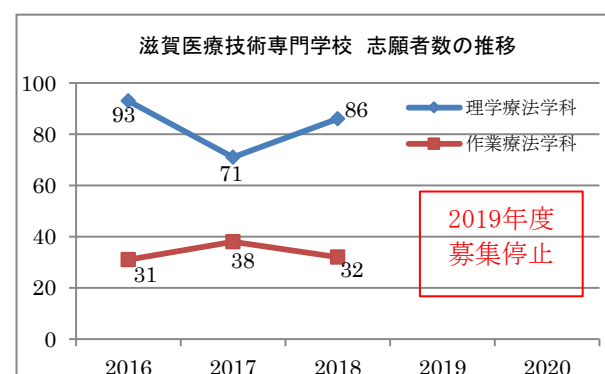
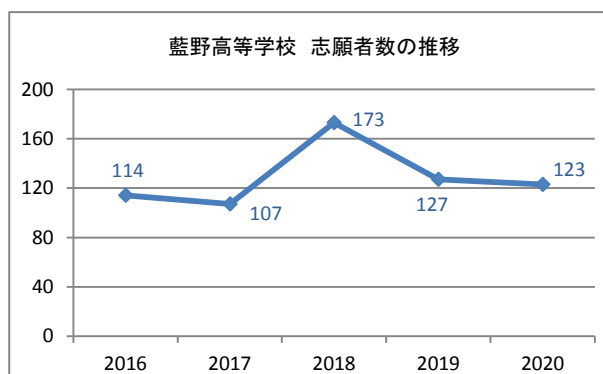
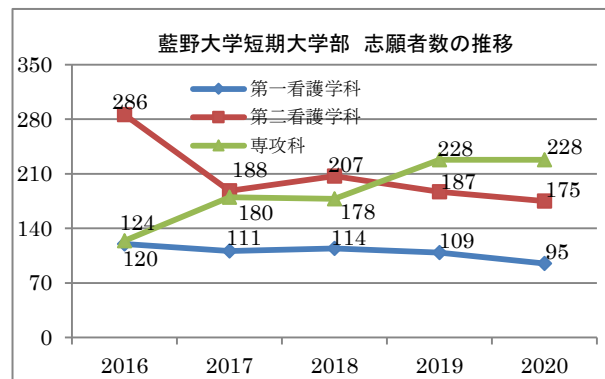
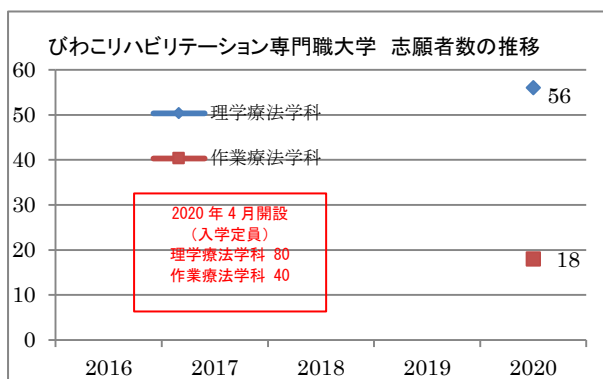
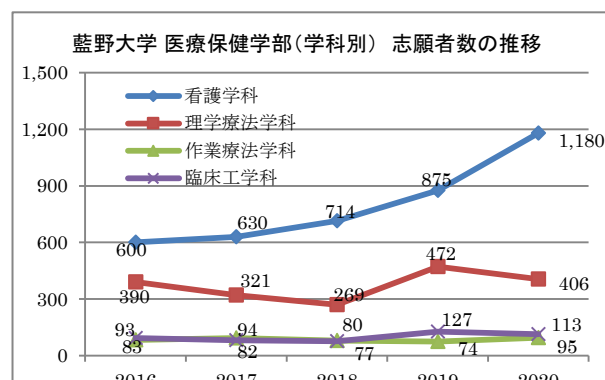
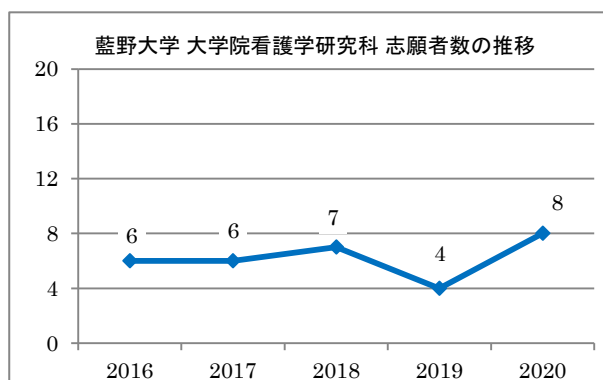
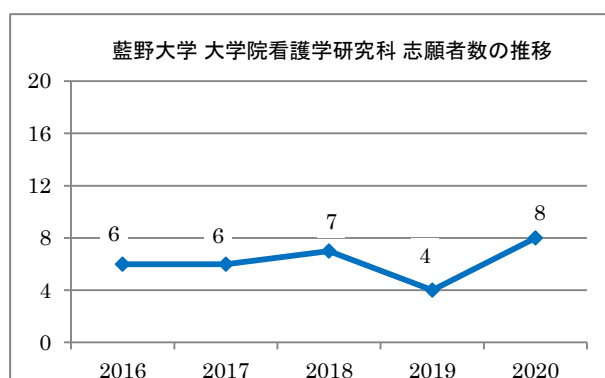
6. 事業活動収支計算書における「学生生徒一人当たりの支出とこれを賄う収入」



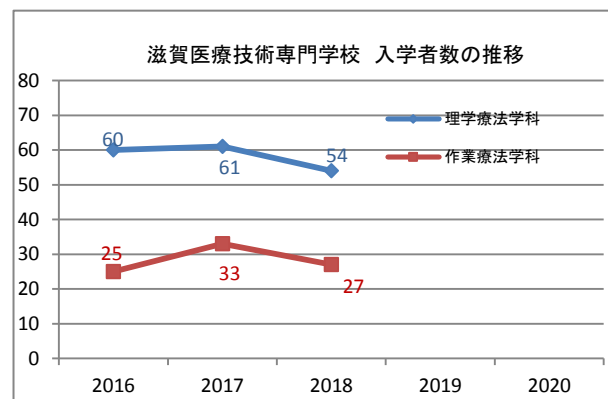
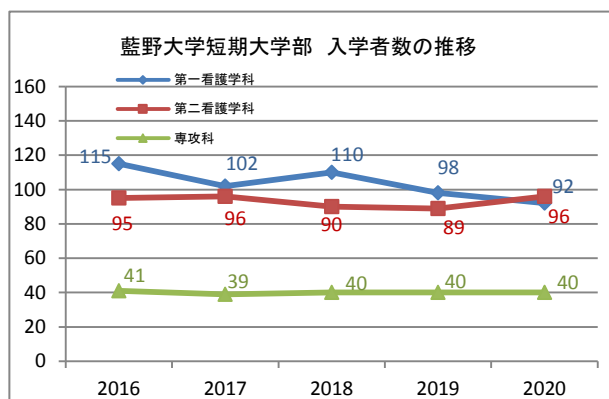
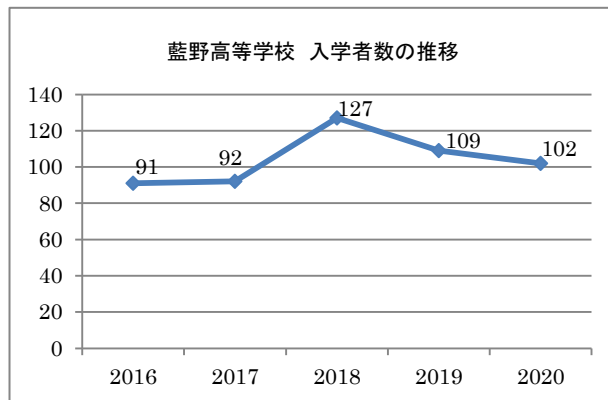
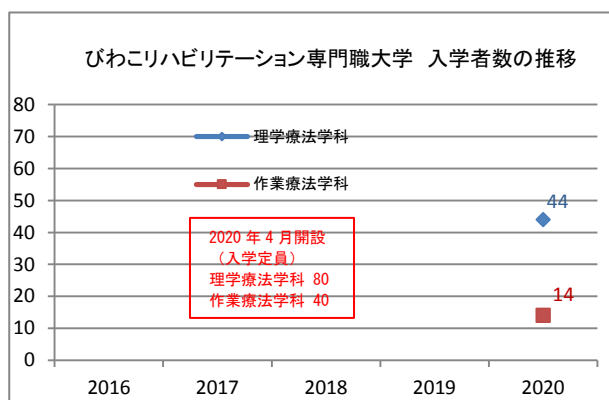
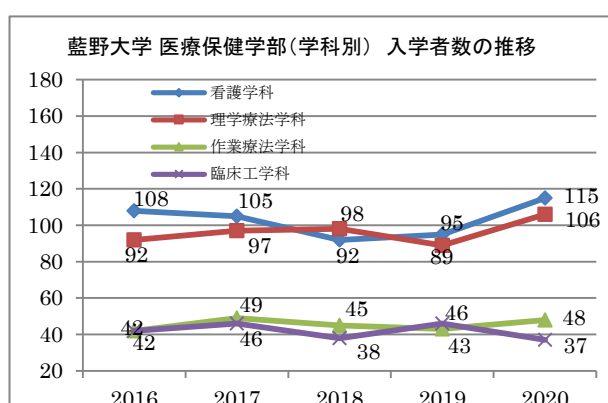
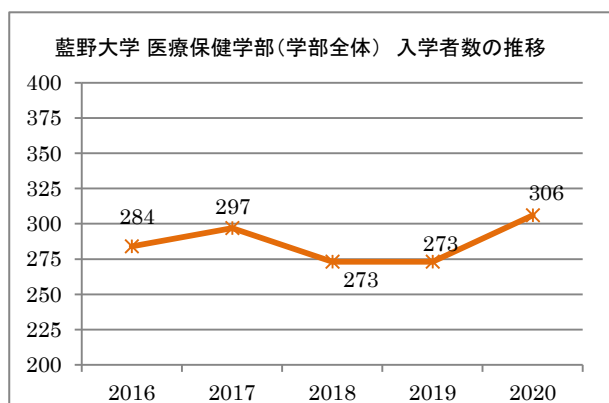
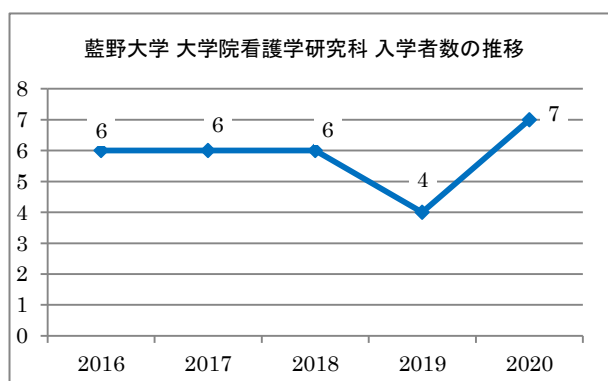
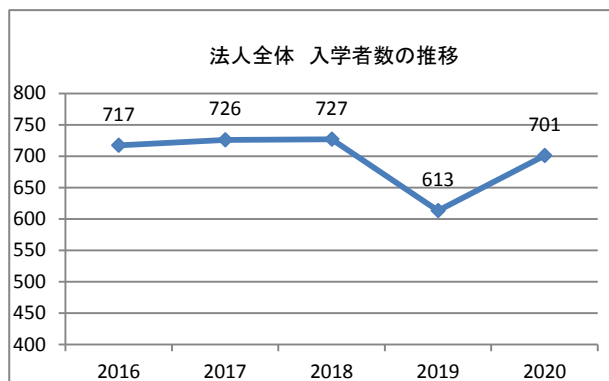
※「経常支出」および「経常収入」の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生生徒数 2,134 人（大学・短期大学部・高等学校・専門学校（2019 年 5 月 1 日現在））で除して、学生生徒一人当たりの平均値を表しています。

IV. 経年のデータ

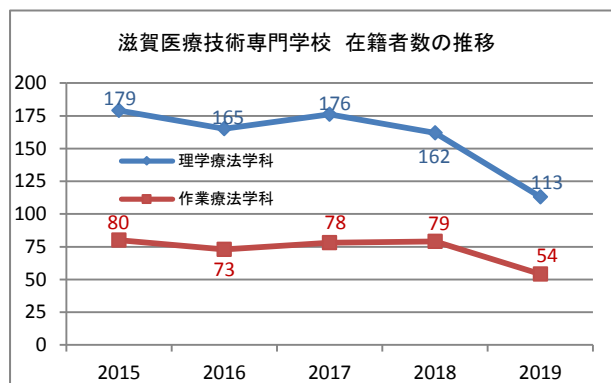
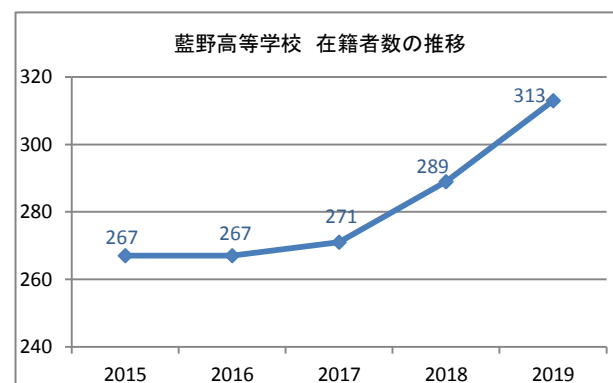
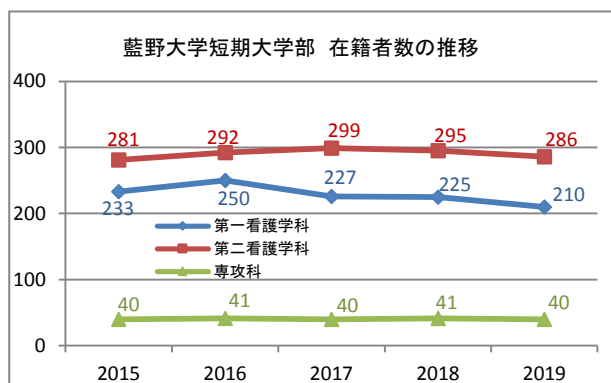
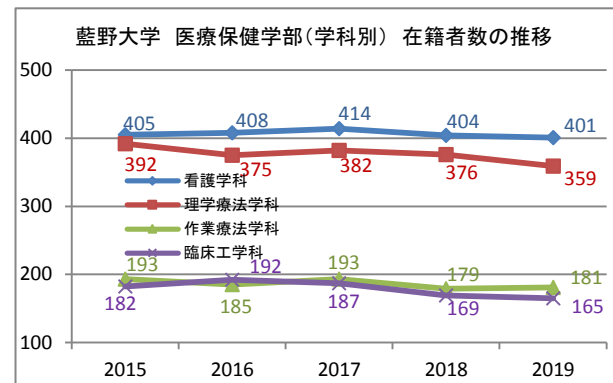
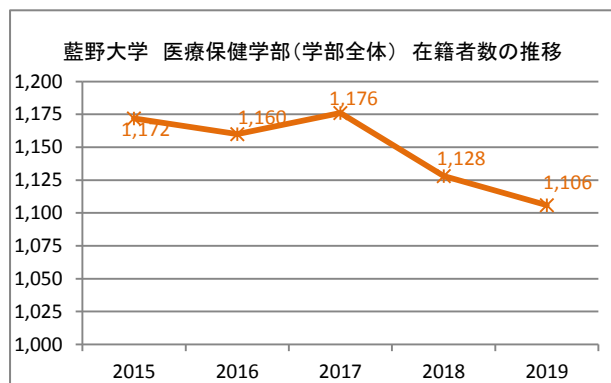
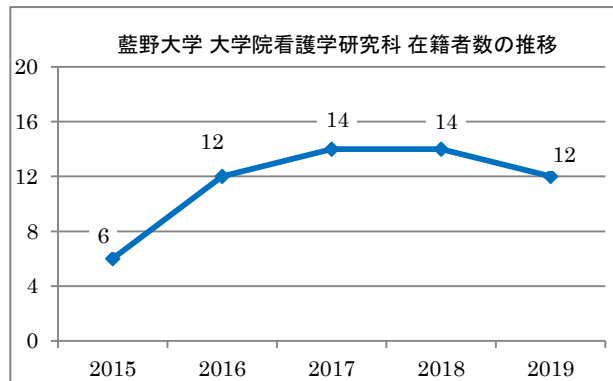
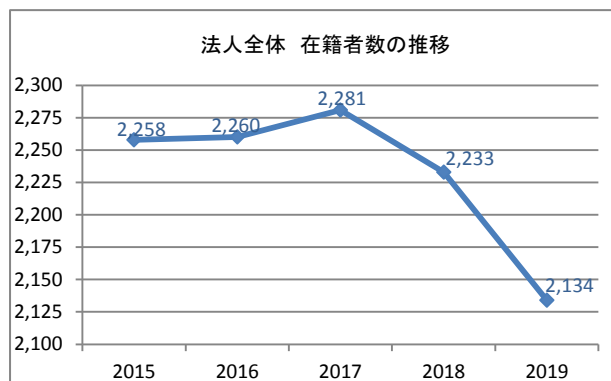
1. 志願者数の推移



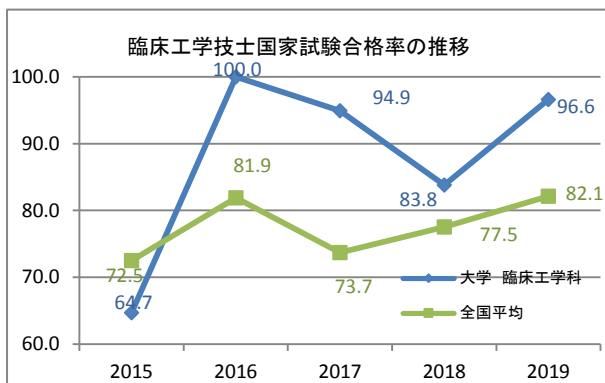
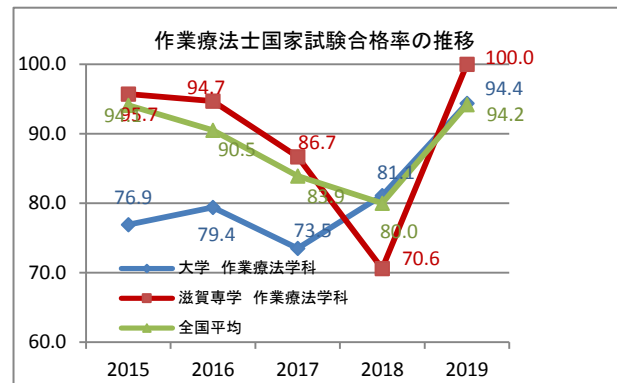
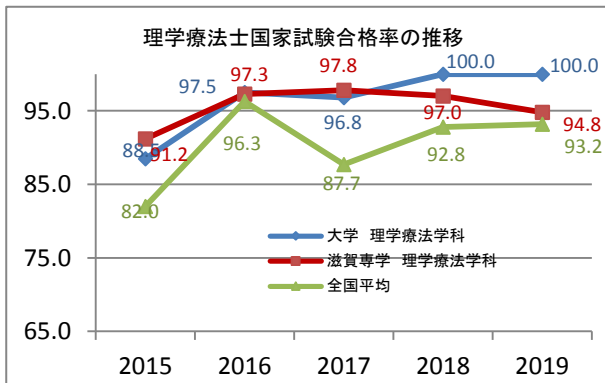
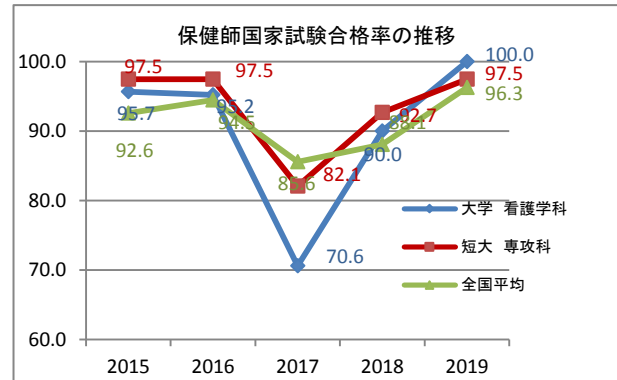
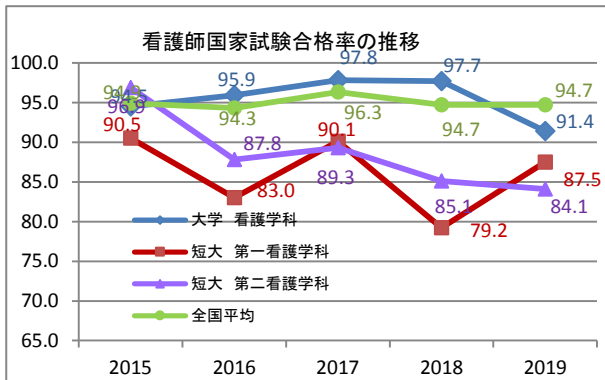
2. 入学者数の推移



3. 在籍者数の推移（各年度 5 月 1 日現在）



4. 国家試験結果の推移（准看護師含めず）



藍野大学



AINOPIA BUILDING



藍野大学短期大学部<茨木キャンパス>



藍野大学短期大学部<青葉丘キャンパス>



藍野高等学校



滋賀医療技術専門学校



2019（令和元）年度 事業報告書



学校法人 藍野大学

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22

■ 藍野大学

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4

■ 藍野大学短期大学部

茨木キャンパス

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25

青葉丘キャンパス

〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1

■ 藍野高等学校

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-11

■ 滋賀医療技術専門学校

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967